

KGA GOLFERS NEWS

関東ゴルフ連盟



関東倶楽部対抗

優勝
袖ヶ浦
カンツリークラブ

関東倶楽部対抗特集号



関東女子
倶楽部対抗

優勝
鹿沼

カントリー倶楽部

別冊
付録

保存
版

2014年度 関東倶楽部対抗
2014年度 関東女子倶楽部対抗

出場全倶楽部 競技成績

各地区予選競技は熱戦
ブロック大会は激戦

塚原 昨年から関東倶楽部対抗に、ブロック大会が新設されました。各都県会場予選競技を経てブロック大会に進出し、その難関を勝ち抜いて決勝競技出場となります。

平成26年度の総参加倶楽部数は398で、KGA正会員倶楽部の参加率は78・5%に達します。予選参加倶楽部数は373、ブロック大会参加数は107で、晴れて決勝競技に出場したのは25倶楽部（シード出場、開催倶楽部枠あり）でした。まさに難関。

各倶楽部の代表選手の奮闘もさることながら、競技委員の皆様のボランティアによる活動にも敬意を表します。

酒巻 2年目と

なる5地区での

ブロック大会を加え、競技運営にはなんの支障もありませんでした。ただ選手によっては関東アマのブロック大会（5月12日から16日の間）と、倶楽部対抗予選競技（5月19日から29日の間）が重なり、日程調整に苦労されたようです。関東倶楽部対抗は、日本で最大規模のアマチュアゴルフの団体競技ですから、個人競技とは心構えからして違うでしょう。

塚原 どちらも1日競技とはいえ、選手には仕事や家庭があつてのこと。各倶楽部の参加意識としては、倶楽部対抗予選とブロック大会に、作戦の違いを感じましたか？

酒巻 各都県会場予選競技は親睦でもあり。お祭

「日本最大のゴルフの祭典は絆こそ意義」

関東倶楽部対抗
ブロック大会が盛況

きずな

酒巻 2年目と

なる5地区での

ブロック大会を加え、競技運営にはなんの支障もありませんでした。ただ選手によっては関東アマのブロック大会（5月12日から16日の間）と、倶楽部対抗予選競技（5月19日から29日の間）が重なり、日程調整に苦労されたようです。関東倶楽部対抗は、日本で最大規模のアマチュアゴルフの団体競技ですから、個人競技とは心構えからして違うでしょう。

塚原 どちらも1日競技とはいえ、選手には仕事や家庭があつてのこと。各倶楽部の参加意識としては、倶楽部対抗予選とブロック大会に、作戦の違いを感じましたか？

酒巻 各都県会場予選競技は親睦でもあり。お祭

リッのような熱気を感じます。ブロック大会となると、実力者揃いのアスリートチームが集結。遠征先の気候風土の違い、海の風と山の傾斜の違い、ゴルフアッ気質なども違うでしょう。それがゴルフの楽しみであって、最初から地元有利などと言いつつを考へていては勝ち残れません。

塚原 私が理事長を務める倶楽部は「昨年に初参加し、弱気だった選手たちに「強豪の胸を借りよう」と激励したのですが結果は最下位。昨年は「ドン



酒巻 一生
KGA常務理事
競技委員会委員長

塚原 裕
KGA常務理事
広報委員会委員長

CONTENTS

関東倶楽部対抗特集号

- 1 関東倶楽部対抗 ブロック大会が盛況
酒巻 一生 KGA常務理事（競技委員会委員長）
塚原 裕 KGA常務理事（広報委員会委員長）

決勝競技

- 2 関東倶楽部対抗
（戸塚カントリー倶楽部 西コース）

ブロック大会

- 6 第1ブロック（伊香保カントリークラブ）
8 第2ブロック
（オirimピックカントリークラブ ふじざくら・はなみずきコース）
10 第3ブロック（霞ヶ関カントリー倶楽部 東コース）
12 第4ブロック（都賀カントリー倶楽部 西・北コース）
14 第5ブロック（千葉カントリークラブ 梅郷コース）

予選競技

- 16 新潟第1会場（柏崎カントリークラブ 米山・佐渡コース）
18 新潟第2会場（イーストヒルゴルフクラブ）
20 長野会場（塩嶺カントリークラブ しらかば・りんどうコース）
22 山梨会場（秋山カントリークラブ）
24 群馬第1会場（ロイヤルオークカントリー倶楽部）
26 群馬第2会場（富岡ゴルフ倶楽部）
28 栃木第1会場（サンレイクカントリークラブ 南・東コース）
30 栃木第2会場（あさひヶ丘カントリークラブ 筑波・日光コース）
32 栃木第3会場（那須伊王野カントリークラブ 北・南コース）
34 茨城第1会場（浅見カントリー倶楽部 北・中コース）
36 茨城第2会場（水戸・ゴルフ・クラブ 南・西コース）
38 埼玉第1会場（東松山カントリークラブ 東・中コース）
40 埼玉第2会場（入間カントリークラブ）
42 千葉第1会場（キングフィールズゴルフクラブ）
44 千葉第2会場（京葉カントリー倶楽部）

KGA GOLFERS NEWS

no. 116

2014年9月30日発行
関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

- 46 千葉第3会場（成田ゴルフ倶楽部）
48 東京会場（多摩カントリークラブ）
50 神奈川会場（小田原ゴルフ倶楽部松田コース）
52 静岡会場（東名カントリークラブ 愛鷹・桃園コース）

決勝競技

- 54 関東女子倶楽部対抗
（三井の森夢科ゴルフ倶楽部 からまつ・あかまつコース）

予選競技

- 58 新潟会場（松ヶ峯カントリー倶楽部 神奈・妙高コース）
60 長野会場（松本カントリークラブ）
62 山梨会場（北の杜カントリー倶楽部）
64 群馬会場（太田双葉カントリークラブ 愛宕・御所之入コース）
66 栃木会場（塩原カントリークラブ 南・北コース）
68 茨城会場（アスレチックゴルフ倶楽部）
70 埼玉会場（石坂ゴルフ倶楽部）
72 千葉第1会場（富里ゴルフ倶楽部）
74 千葉第2会場（紫カントリークラブ すみれコース）
76 東京会場（相武カントリー倶楽部）
78 神奈川会場（大森野カントリークラブ）
80 静岡会場（東名カントリークラブ 裾野・桃園コース）

- 82 新規加盟倶楽部のご紹介
84 トピックス
85 from KGA

保存版 別冊付録

2014年度関東倶楽部対抗
2014年度関東女子倶楽部対抗
出場全倶楽部 競技成績

編集／関東ゴルフ連盟広報委員会
統括／塚原 裕（KGA広報委員長）
撮影／塚原裕一（KGA広報副委員長）
大竹 茂（KGA広報委員）
足立 寛（KGA広報委員会参与）
取材／西田美千子（KGA広報委員）
福島 靖（KGA広報委員会参与）

増田 収（KGA広報委員）
久保田昌幸（KGA広報委員）
本條 強（KGA広報委員）

勝技
決競

戸塚カントリー倶楽部

西コース

富士を望む快晴の中、日本最大の団体戦を開催

千葉勢強し！入賞に4倶楽部 袖ヶ浦CCが「哲」の団結力で優勝！

今年の関東倶楽部対抗は、青々とした富士山が空に浮かぶ、戸塚CC西コースで開催された。名匠、井上誠一氏が設計、日本オープンなど数々のメジャートーナメントも行われてきた美しくも戦略性の高いコースだ。この日は晴天ながらも強風が吹く厳しいコンディション。

関東のゴルフ倶楽部398チームが参加し、予選を勝ち上がり、この日の決勝に挑めるのは強豪25チーム。各チーム6人が参戦し、4人の合計スコアで競われる。ゆえに、レベルの高い選手を数多く抱える、真に実力のあるチームが優勝を成し遂げるだろう。そう誰もが予想し、実際に優勝したのは阪田哲男率いる袖ヶ浦カントリークラブ。2位の富士宮ゴルフクラブに12打差というぶっちぎりの栄冠だった。

阪田哲男は55歳以上のAクラスの選手として出場、2アンダーで最優秀選手賞も獲得した。公式戦99勝の王者が

優勝インタビューで胸を張る。

「今日は風が強く吹いたので、我々が勝てたのだと思います。私個人としては、この大会が最後になるという思いでプレーしました。風の中で良いプレーができ、嬉しく思っています。特にグリーンは素晴らしく、3パットだけはしないぞとの思いで頑張りました」

関東の名選手たちから大きな拍手が巻き起こった。65歳となる阪田哲男はこの競技に20代から参加、40年以上も頂点に立ち続けている。凄いというほかに言葉は見つからない。

そんな阪田を目標に、袖ヶ浦CCの選手たちは切磋琢磨している。日頃から50人以上も集まる研修会で、阪田は選手たちに風の中でいかに良いプレーができるかを修練するように言っている。

今競技は55歳以上のAクラスと年齢制限のないBクラスから3人ずつ出場し、各2人ずつの良いスコアが集計されて勝敗が決まる。袖ヶ浦CCのAクラスには阪田の他に、今年55歳を迎えた原田晃と市田雅亮が加わり、ともに75にまとめた。

その原田が言う。

「パープレーが目標でしたが、グリーンが速く、風がとても強かったので、気持ちを切らさないようにプレーしました。ドライバースhootは今ひとつでしたが、アイアンの調子が良く、ほとんどパーオンできました。なんとか責任が果たせてホッとしています」

もう一人、市田雅亮が試合を振り返る。「背中を痛めていて、どうなるかと思いました。最後までプレーできて良かった

最終組の阪田哲男を迎える袖ヶ浦CCの選手。「すでに優勝は決定していますから、このままお帰りにしたら」(笑)



竹田KGA理事長から賜杯を授与される袖ヶ浦CCチーム。



関東倶楽部対抗決勝競技

平成26年8月4日(月)参加倶楽部数25 出場選手150名



優勝

袖ヶ浦カントリークラブ / 293



2位

富士宮ゴルフクラブ / 305



3位

総武カントリークラブ / 306



4位

東千葉カントリークラブ / 309



5位

習志野カントリークラブ / 309

DATA

Aクラス6508yards Par72 / Bクラス6870yards Par72

●最優秀選手賞Aクラス・阪田哲男(袖ヶ浦) 70 / Bクラス・中跡朝臣(富士宮) 72



(本條強)

83と崩れて、Bクラスの「コメ」に。「最近では最も悪いゴルフをしてしまいました。とにかくバットが悪かった。パディーチャンスはことごとく入らず、バーバットもカッパに蹴られたりと散々でした。でも、条件は皆同じ。出場した6人ともスコアが集計されたら、大迷惑をかけるつもりでしたが、コメは悔しいけどホッとしました。来年はリベンジして、袖ヶ浦CCの連覇に貢献したいです」

阪田哲男キャプテンのもと、控えの選手も含め優勝に向けて一丸となった袖ヶ浦CC。今回昭和9(1934)年から続く関東倶楽部対抗で3位タイとなる5度目の優勝を成し遂げた。8度の最多優勝を誇る千葉カントリークラブを、射程内にとらえる素晴らしい優勝だった。



富士山

たです。風が強かったのですが、風にはやさしくインパクトして、スピンをかけずに打つのが一番と、力まずにショットしました。今日はバットが良くて、パディーが4つ取れたのが良かったですね」水上晃男はBクラスの先鋒として73で上がり、大役を果たした。40代の年齢で日本アマ上位を狙う実力者だが、並みいる強者がいる袖ヶ浦CCだけに、予選ではスコアがカウントされない「コメ」(注：※印などで記載)となった。「袖ヶ浦の仲間から水上は、コメ上」さんなんて呼ばれて、今日は良いスコアで貢献しなくてはと頑張りました。幸い僕が好きな風が吹いたので、1オーバーであがれました。風の日はドライバーでは低い球を打ち、アイアンはパンチショットを使って、風にあわせて対処します。グリーンは1回外すだけと良かったのですが、ピンが難しいところ、に切っており、バットに苦労しましたね」

もう一人、Bクラスの実力者、柳澤信吾が日に焼けた顔を引き締める。「前半のインで40を叩いて、これはイカシと。突風が吹いたりして、距離感が難しかったですね。でも、こういう悪い流れのときは我慢が大事だと、後半は粘って1アンダーの35にして、75となんとか役目を果たせました。阪田さんを目標にまだまだ精進しないといけないですね」

最後は故・中部銀次郎氏の子息、中部隆。予選をバーレーとし、袖ヶ浦CCの代表選手となったが、この日は



左から。戸塚CCの松本副理事長によるノンアルコール飲料での乾杯。竹田KGA理事長の挨拶。

最優秀選手賞



左から。Aクラスの阪田 哲男(袖ヶ浦)、Bクラスの中跡朝臣(富士宮)。

右上から。6位 新千葉カントリー倶楽部 / 309・7位 オリムピックカントリークラブ / 315・8位 サニーカントリークラブ / 316・9位 富士チサンカントリークラブ / 316・10位 水戸グリーンカントリークラブ / 316・11位 船橋カントリー倶楽部 / 318・12位 茨城ゴルフ倶楽部 / 318・13位 嵐山カントリークラブ / 319・14位 立川国際カントリー倶楽部 / 320・15位 藤岡ゴルフクラブ / 321・16位 南総カントリークラブ / 321・17位 戸塚カントリー倶楽部 / 322・18位 太田双葉カントリークラブ / 322・19位 都賀カンツリー倶楽部 / 325・20位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 328・21位 鴻巣カントリークラブ / 328・22位 早月ゴルフ倶楽部佐野コース / 332・23位 松ヶ丘カントリー倶楽部 / 332・24位 霞ヶ関カンツリー倶楽部 / 333・25位 関越ハイランドゴルフクラブ / 336



決勝進出倶楽部

平成26年6月24日(火) 参加倶楽部数19 / 通過倶楽部数4



1位 藤岡ゴルフクラブ / 303



2位 関越ハイランドゴルフクラブ / 306



3位 松ヶ峯カントリー倶楽部 / 306



4位 太田双葉カントリークラブ / 307

貴井大会会長から第1位のペナントを授与される藤岡GCの代表選手(左)。



リーククラブ)



当日の朝は初夏の清々しい天候に恵まれ、順調なスタートを切ることができました。途中、激しい雷雨に見舞われ1時間30分ほど中断しましたが、その他の大きな事故やトラブルもなく、5時には全組がホールアウトし、無事にすてきを終了することができました。これらのおかげに、大会に関わっていただきましてすべての皆様、多大なるご指導とご協力によるものと心より感謝致しております。本当にありがとうございます。(伊香保カントリークラブ)



これで手作業での造成の味歴史と伝統を守りつつコースはモダンに成長。

Green Keeper

管理スタッフの総力で上級者もご満足の仕上がり
伊香保CC・根本 睦
グリーンキーパー

関東倶楽部対抗競技に際し、ゴルフ上級者の方々に充分ご満足いただけるよう、グリーンスピードはもとより、良好なコースコンディションの整備に、コース管理一丸となって努めてまいりました。雷雨による一時中断はあったものの、大きなトラブルもなく終了することができました。

また競技委員の皆様をはじめ、多くの方から貴重なご意見をいただき、伝統あるコースの名に恥じぬよう、今後の管理に活かして行きたいと思っております。



第1ブロック大会

伊香保カントリークラブ

伝統ある倶楽部の誇りにかけて今競技を開催

て知られていて、農学博士の下山忠廉氏によるものです。重機などの設備が少なかった時代のため、クワやスキなどを使い手作業で造成され、広いフェアウェイと大自然の景観美を持ちながらも、山の傾斜や速い芝目など自然の地形を活かしたコースです。あの青木功プロも、コースの難度の高さを絶賛したほどのコースのためか、本大会前には何度も練習に訪れた選手も少なくありませんでした。

日本の中央部に位置している当倶楽部は、日本を代表する温泉地として有名な伊香保に、群馬県最古のリゾートゴルフ場として、群馬銀行の横山太喜夫頭取を理事長とし、1959年にオープンしました。国道を隔ててすぐ上には伊香保温泉街。榛名・子持・谷川の名峰に囲まれ「眺望絶佳、適度なアンジュレーションのある高原コース」と、施工・鹿島建設の年報にて謳われています。設計は新宿御苑など宮内庁のコースを設計した折下吉延氏の弟子で、学者系の設計家として

新潟・群馬



関係倶楽部、伊香保CCの代表選手と関係者。

決勝進出倶楽部

平成26年6月27日(金) 参加倶楽部数15 / 通過倶楽部数3



1位 富士宮ゴルフクラブ / 302



2位 オリムピックカントリークラブ / 302



3位 サニーカントリークラブ / 302

ベストスコア賞

ホールインワン



左から。Aクラスの片野由次(オリムピック)、Bクラスの宮島一馬(塩嶺)。



小林一三(サニー)がアウト3番でホールインワンを達成。

最後に、本競技が無事に終了できましたことは、KG A競技委員の皆様をはじめ各倶楽部の選手の皆様、準備から開催当日までご協力いただいた当倶楽部競技委員の皆様、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。(オリムピックカントリークラブ 支配人・市川浩之)

決勝競技へ進む1位通過の富士宮ゴルフクラブと、3位通過のサニーカントリークラブとの活躍を期待し、応援したいと思っています。

決勝競技で進み、1位通過の富士宮ゴルフクラブと、3位通過のサニーカントリークラブとの活躍を期待し、応援したいと思っています。

決勝競技で進み、1位通過の富士宮ゴルフクラブと、3位通過のサニーカントリークラブとの活躍を期待し、応援したいと思っています。



集計結果を真剣に眺める選手とギャラリー。



笑顔の見えるオリムピックCC応援団。



開催倶楽部代表選手と応援団。



鈴木競技担当委員長(左)と志村大会会長。



オリムピックグループの関本社顧問。



最終ホールでは拍手と歓声。



ティーショットを見守るギャラリー。

朝露に輝く早朝のコース
鬼才P・ダイの意匠が
代表選手を待ち受ける。



第2ブロック大会

オリムピックカントリークラブ ふじざくら・はなみずきコース 異常気象による災害を克服して当日は快晴微風

長野・山梨・静岡

梅雨の時期ではありましたが、本競技当日の天候は、快晴微風と絶好のコンディションで開催することができました。当倶楽部では12年前の平成14年に行われました関東倶楽部対抗山梨予選会場以来、2度目となる倶楽部対抗の開催。第2ブロック大会会場に選ばれ、選手の皆様と関係者の方々にご満足いただけるよう、会員・従業員が一丸となりコースメンテナンスと準備を進めてまいりました。

しかし2月に記録的な大雪に見舞われてコース散水用受水槽が崩壊し、コースの命である水の確保が厳しい状況となりました。緊急で仮設タンクを手配しましたが、グリーンをなんとか維持できる程度の貯水しかできません。5月に入り気温も上昇し、雨も降らず乾燥で、コース、グリーンともに弱り、散水タンク車をフル稼働させましたが追いつかず、芝は焼けて赤くなつていきま

した。雨を願っていたところで、今度は6月初旬に記録的な大雨によりコースの一部が崩れ、グリーン周りの排水管が3か所詰まり、その場所が池となりました。

焼けて赤くなつていたコースは無事に緑となり回復しましたが、予断を許さない日々が続き、グリーンのコンパクションとスピードをどのように調整するかが大きな課題となりました。

当倶楽部の設計はダイ・デザイン社で、グリーンはアンジュレイションがきつく、カップ位置によっては非常にシビアになるため、グリーンスピードについては神経をつかいましたが、まずま

決勝進出倶楽部

平成26年6月23日(月)参加倶楽部数24／通過倶楽部数5



1位 嵐山カントリークラブ／302



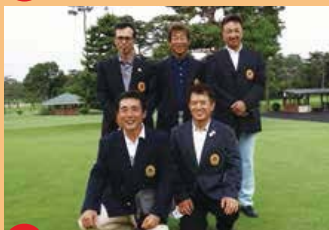
2位 霞ヶ関カンツリー倶楽部／307



3位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース／307



4位 鴻巣カントリークラブ／311



5位 立川国際カントリー倶楽部／311



霞ヶ関CCの応援団。

最後に、大会会長をはじめとする役員の方の挨拶では、各選手ならびに競技委員の方々、また各倶楽部関係者へのねぎらいと、決勝

5枠の行方を気にしながら、最終組があがってくるのを待ちわびていました。最終組でプレーするAクラスの選手が好スコアをマークし、ブロック大会通過が確定となると、選手と応援団に笑顔が広がりました。表彰式において決勝進出を決めた倶楽部が発表されると、該当倶楽部からは歓声が上がり、改めて喜びをわかっていました。

Green Keeper

競技用の整備ではなく
日常の管理がベースです

霞ヶ関CC・清水 優
グリーンキーパー

選手各位が持てる技量を正確に発揮できるよう全グリーンがフェアに転がる均一な管理を心がけました。1日競技にピークを合わせるのではなく、1～2週間前の練習ラウンドでもさほど変わらぬ状態を維持しました。当日のスピードは11フィート強でした。

6月下旬は思うように転がりが出せないのですが、日頃のベースがあれば整備は難しくはありません。日々、自然の観察と研究は欠かせません。



上から。吉田大会会長、霞ヶ関CCの本村理事長、原口キャプテン、深尾競技委員長。

進出倶楽部に対して健闘を祈念する言葉がのべられ、今年のブロック大会も無事終了いたしました。(霞ヶ関カンツリー倶楽部総支配人・今泉博)

東京五輪会場が予定される
名舞台での名演技
決勝進出の結果は……。

第3 ブロック大会

霞ヶ関カンツリー倶楽部

首都決戦の様相は絶好のコンディションで白熱！

東コース

埼玉・東京・神奈川



昨年度からスタートした関東倶楽部対抗ブロック大会。第3ブロック大会は埼玉・東京・神奈川の3地区を勝ち抜いた19倶楽部と、昨年の決勝競技でシード権を獲得した4倶楽部、開催倶楽部枠出場の当倶楽部の、合計24倶楽部が決勝進出の5つの枠を競うことになりました。

前日の雨も上がり、少し日差しのある絶好の天気となった大会当日の朝、各倶楽部の代表選手は、応援団とキャラリーの声援に挨拶を返ししながら、次々とスタートしていきましました。コースコンディションは、前日の雨の影響でグリーンは多少軟らかくはなりましたが、速さ、硬さなど指定練習日

とあまり差のないコースコンディションにはなつたかと思われます。

倶楽部対抗独特の雰囲気の中での選手の緊張感や、決勝進出への強い思いが応援する各倶楽部の関係者にも伝わり、心配そうにグリーンサイドで応援している様子は、全倶楽部に共通のものでした。

午後に入り次々と選手があたりはじめるにつれて、各倶楽部の選手のスコアが気になり、あがつてきた選手のスコアをメモしながら、スコアボードで他倶楽部のスコアと照らし合わせては、喜んだり心配したりで熱い雰囲気はさらに上昇。

当落線上にあった当倶楽部も、上位

決勝進出倶楽部

平成26年6月26日(木) 参加倶楽部数24 / 通過倶楽部数5



1位 茨城ゴルフ倶楽部 / 303



2位 水戸グリーンカントリークラブ / 309



3位 都賀カンツリー倶楽部 / 309



4位 草月ゴルフ倶楽部佐野コース / 312



5位 新千葉カントリー倶楽部 / 313

免除での出場とさせていただき、上位入賞目指し選手が頑張っておりました。さすがに予選を勝ち抜いてこられた倶楽部は強豪揃いで、倶楽部対抗の常連倶楽部がほとんどです。恥ずかしながら当倶楽部は「最下位にならない方がいいなあ」と思っておりましたが、結果、幸いにして第3位の成績で決勝競技に進出できるようになり、いっそう身の引き締まる思いでございます。

最後となりますが、本競技開催にあたり、豊泉競技担当委員長をはじめKGA競技委員の皆様にも多大なるご協力とご指導を賜り、運営に対しても深く敬意と御礼を申し上げます。また各倶楽部、選手、応援の皆様に対し、当倶楽部で行われた第4ブロック大会競技が無事終了できたことに感謝を申し上げます。(都賀カンツリー倶楽部 副支配人・田中一也)

西・北は距離の長いパー4をプレッシャーの中で攻略する醍醐味。



ベストスコア賞



左から。Aクラスの寺田智(ニッソー)、Bクラスの中島正春(草月・佐野)、杉崎広正(都賀)。



左から。都賀CCの佐々木社長、高潮理事長、篠崎大会会長。



第4ブロック大会

都賀カンツリー倶楽部

西・北コース

選手同様、開催側も重圧に耐えて成功した喜び

坂本第1・3
茨城第1千葉第1

第4ブロック大会が開催された6月26日は梅雨まっただ中。前日まで小雨が降り続いており、時おりゲリラ豪雨と呼ばれるもの凄くもありました。当倶楽部は昭和42年に、地元の経済界が中心となり会社を設立し、43年に開場致しました。栃木県で13番目にオープンしたゴルフ場です。おかげさまで昨年開場45周年を無事迎えることができました。当倶楽部は40年以上の歳月を経た樹木に囲まれ、自然の地形を活かした丘陵コースです。平成6年には第45回関東オープン競技も開催されました。

今年、関東倶楽部対抗第4ブロック大会会場に選ばれ、競技担当者をはじめ従業員一同競技会の無事成功を目標に、身が引き締まる思いで準備に取り組んでまいりました。

当日は144名の選手が朝からなんともいえない大きなプレッシャーの中、各倶楽部の応援を受けた倶楽部代表選手として、決勝進出枠(5枠)をかけ、熱い熱戦を繰り広げていました。天気のはうも前日まで雨だったにもかかわらず、当日は雨の心配もなく、なんとかコースコンディションもベストに近い状態(速さ117・コンパクション22・山中式)で提供できたことは嬉しい限りです。当倶楽部はホスト倶楽部として予選



Green Keeper

広いフェアウェイにポイントとなる樹木を配置

都賀CC・長島幸夫
グリーンキーパー

広い敷地に展開する雄大な27ホールです。芝種「ペンA4」のグリーンは、通常は速さ9.5〜10フィートに精魂込めて仕上げています。

都賀CC一筋に、樹木の生長を見守り続けてきました。これからの秋、松を主体に広葉樹の落葉の掃除は大変ですが、樹木は名ホールの演出には欠かせない要素です。



決勝進出倶楽部

平成26年6月23日(月) 参加倶楽部数25 / 通過倶楽部数5



1位 総武カントリークラブ / 300



2位 習志野カントリークラブ / 301



3位 南総カントリークラブ / 301



4位 袖ヶ浦カントリークラブ / 302



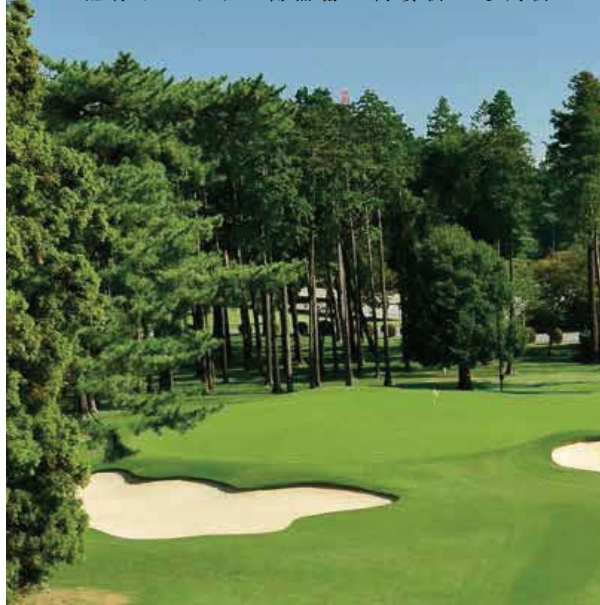
5位 船橋カントリー倶楽部 / 303



開催倶楽部、千葉CCの代表選手と関係者。

(千葉カントリークラブ梅郷コース支配人・石澤賢一)

ハイレベルな争いになりました。当倶楽部は開催コースという重圧の中、残念ながら18位の結果となり、各選手も悔しさを隠しきれずにおりました。最後に本大会開催にあたり、参加倶楽部の皆様、競技担当委員長・競技委員の皆様や関係者の皆様のご支援とご協力により、無事に競技を開催できましたことを心より御礼申し上げます。



ベストスコア賞



左から。Aクラスの寺沢洋(ディアレイク)、Bクラスの手塚辰弥(南総)。



ギャラリーに見守られてスタート。



左から。千葉CCの新村理事、矢部常務理事。



18番グリーンサイドに大応援団。

第5ブロック大会

千葉カントリークラブ

梅郷コース

強豪ひしめく中、千葉勢が揃って決勝競技へ

栃本第2次決勝第23

から開催日を迎えました。競技当日は参加選手の皆様のおかげで、雨に降られることもなく迎えられました。早朝から各倶楽部の応援の方をはじめ多くの方がご来場され、25倶楽部150名の選手が、7時30分より多くのギャラリーに見送られてスタートして行きました。

競技は接戦の様相を呈して、決勝進出できる5位までが3ストローク差となり、5位と6位は同ストロークという

平成26年度関東倶楽部対抗第5ブロック大会が当倶楽部にて開催され、昨年の関東女子倶楽部対抗千葉第1会場予選開催に続き、2年連続での倶楽部対抗開催コースとなりました。梅郷コースでは今年の10月に日本オープンゴルフ選手権を控えており、コース改造もすべて終わり、競技参加者の皆様を最高のコンディションでお迎えすべく、コーススタッフで万全の準備をしてまいりました。また、昨年の倶楽部対抗開催の経験を活かし、当日の運営をより良く行えるようにスタッフで話し合いながら開催日を迎えました。

日本オープン開催のコース設定が完了
激戦区の争いは1打でも明暗。



第1ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月29日(木) 参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数4



1位 長岡カントリー倶楽部 / 485



2位 柏崎カントリークラブ / 497



3位 ノーブルウッドゴルフクラブ / 498



4位 越後ゴルフ倶楽部 / 498

ベストスコア賞



左から。Aクラスの山宮秀一(湯田上)、Bクラスの藤田高彦(妙高)、上田昭(越後)。



左から。柏崎CCの植木理事長、新潟日報社長岡支社の林支社長、斎藤大会会長。

DATA Aクラス6532yards Par72 / Bクラス6682yards Par72 ●ベストスコア賞Aクラス・山宮秀一



アが記入される都度歓声と溜息が入りまじり、倶楽部対抗の熱気はいやが上にも高まりました。

表彰式は三宮競技担当委員長の成績発表ではじまり、栄誉をたてる拍手につつまれ倶楽部表彰、個人表彰と続き、全員が競技の緊張感から解放され和やかな雰囲気のもと進行しました。

当倶楽部の成績ですが接戦の末、2位に入賞しブロック大会への切符を手にすることができました。入賞4チーム中3チームが、中越地区の倶楽部でした。

すべてが終了し、静かになったゴルフ場から日本海を見下ろすと、黄金の夕日が穏やかな海面に光の道を映しながら沈んでゆきます。見慣れた景色ですが、この日は格別に美しく思われました。

この競技に関わったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。(柏崎カントリークラブ支配人・力石陽一)



黄金の夕日が穏やかな海面に
光の道を映しながら沈んでゆきます。
見慣れた景色ですが、この日は格別に美しく思われました。

(力石陽一・柏崎CC支配人)

新潟 柏崎カントリークラブ 米山・佐渡コース

第1会場予選 練習ラウンドから気迫が溢れ、まずは予選通過へ

17、硬さ13」と報告があり、コースと選手との戦いに期待がふくらみます。

各倶楽部の応援団が見守る中、8時に1組目がアウト、インでそれぞれスタート。前半9ホールをあがってきた選手は口々に「グリーンの硬さ、速さに悩まされている」との感想で、スコアはあまり伸びないのではないかとという推測が囁かれます。競技は特にトラブルもなく順調に進み、午後2時には1組目がホールアウトし、ボードにスコ

関東倶楽部対抗新潟第1会場予選競技が、5月29日(木)に当倶楽部で開催されました。平成6年以来、20年ぶり2回目の開催です。

前回は開催倶楽部の利もあり25チーム中、堂々1位の成績でした。今回は予選はブロック大会への出場権の獲得に強い意欲を持って臨みましたが、一方でプレッシャーも感じていたのではないかと思います。

前週まで寒暖の差があり安定しなかった天候も、競技当日は初夏を思わせる陽気となり、風もなく絶好のコンディションとなりました。7時20分の競技委員会で、キーパーから「グリーンの速さ11



スタートホールは日本海を一望してのティーショット。

スコアボードを確認する選手と応援団。



(湯田上) 76 / Bクラス・上田昭(越後)・藤田高彦(妙高) 78

第1ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月27日(火) 参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数4



1位 イーストヒルゴルフクラブ / 474



2位 十日町カントリークラブ / 477



3位 小千谷カントリークラブ / 478



4位 松ヶ峯カントリー倶楽部 / 482



クラブハウス玄関前でお見送り。



ティショットは
ポイントを狙い打つ
戦略性豊かなコース。

ベストスコア賞



上から。A
クラスの
宮沢重夫
(松ヶ峯)、
Bクラス・
田村敏明
(小千谷)。



上から。イーストヒル
GCの市川会長、照
井キャプテン、新潟日
報社の佐藤部長。



●当日の競技の様子
前日から続いていた強風と雨も、当日の朝にはようやく止み、競技開始時刻には澄み切った晴天となり、絶好の競技日和となりました。
スタート時刻が近づくにつれてギャラリーが増えはじめ、開始時には大勢の観客で賑わいました。スタートハウスでは競技説明が静粛に行われ、選手の名前がコールされると一転、拍手と歓声に沸きました。
各倶楽部のサポーターや応援団も選手とお揃いのウェアをまとい、コース内を団体で移動する光景は倶楽部対抗の風物詩とも言えますが、その色の華やかさはまさに絶景のひと言です。
午後からは気温が上がると、真夏日なみの暑さとなりました。ギャラリーも木陰に応援場所を移しながらも、選手に声援を送り続けていました。
最終ホールのグリーン周りはギャラリーが特に集中しており、熱戦を終えた選手を温かい拍手と声援で迎えておりました。選手の皆様も競技の圧力からようやく解放された安堵からか、笑顔でギャラリーに手を振る姿がとても印象的でした。
●当倶楽部からのメッセージ
競技会の開催が決定してから開催前日に至るまで、幾度となく打ち合わせを重ね、準備を進めてきました。特に

●当日のコンディション
天候・晴れ、気温・最高27度、南東の風0.2m/s。グリーン・コンパクションH、速さ107。前日の雨により、日陰などに多少ぬかるみが生じたものの、フェアウェイ・グリーンともに、特に影響はなかった様子です。
(イーストヒルゴルフクラブ担当 マスター室・山口正人)



新潟

第2会場予選

イーストヒルゴルフクラブ

3週間近く続いた渇水を倶楽部一丸で乗り越えた

第1ブロック

第2ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月22日(木) 参加倶楽部数26 / 通過倶楽部数6



2位 上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 / 459



3位 長野カントリークラブ / 464



4位 松本浅間カントリークラブ / 465



5位 穂高カントリークラブ / 470



6位 サニーカントリークラブ / 474



1位 塩嶺カントリークラブ / 459

ベストスコア賞



Aクラスの中山 敏夫
(上田丸子グランヴィリオ)
とチーム写真後列
右から3人目のBクラ
スの宮島一馬(塩嶺)。



オール信州の交歓があちこちに。



大接戦にスコアボード前は喜怒哀楽。



コース各所にツツジが咲くこの季節に、塩嶺カントリークラブで関東倶楽部対抗長野会場予選競技が行なわれました。

前日までの雨もあがり、開場時点ではコースにかかっていた朝霧も、スタート時には選手を迎えるかのように過ぎ去っていききました。午前中はほぼ無風の曇り空でしたが、午後には北からの風も吹き、時おり見える青空のもとで、各倶楽部旗ははためいていました。幸いにも雷の心配はなく、長野県下26倶楽部156名が参加した競技は滞りなく進行しました。

アウト(しらかば)1番は、クラブハウスから続く下り坂の途中にある、打ち下ろしのホールになっています。そのためクラブハウスからティーインググラウンド周辺にかけて、各選手のティークロスを見下ろすことができ、応援・観戦の来場者が多く集まりました。

イン(りんどう)1番にも各選手を激励するために、関係者が多く集まっていた。観衆に見守られながら、緊張の面持ちで放たれるティークロスには、倶楽部の枠を越えた掛け声や拍手が起っていました。

アウト最終ホールは、グリーン周辺に集まるギャラリーの目の前に、ボールがあがってくる上りホールになっています。ピンそばにつけると、大きな歓声



があがっていました。最後の1打まで気を抜けなかった選手たちも、ホールアウト後にほっとした表情を浮かべていました。

最終結果としては、上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部と塩嶺カントリークラブの、合計スコアが同点となる接戦となりました。タイの場合の順位決定方法Bクラスの個人ベストスコア順に従い、塩嶺カントリークラブが優勝となりました。

表彰式では第2ブロック大会進出6倶楽部の選手に対して、他倶楽部の分まで存分に力を発揮し決勝進出へと、多くの方からお言葉をいただきました。長野県代表6倶楽部の皆様のご健闘を、心よりお祈りいたします。

(塩嶺カントリークラブ営業・古厩 喬)

長野

会場予選

塩嶺カントリークラブ しらかばりんどうコース

長野県代表の榮譽をかけて上位2倶楽部が大接戦

第2ブロック

上田治氏設計の傑作は
豪快に打ち下して
細心に寄せる。



第2ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月23日(金)参加倶楽部数15 / 通過倶楽部数3



1位 都ゴルフ倶楽部 / 464



2位 メイプルポイントゴルフクラブ / 470



3位 秋山カントリークラブ / 475

ベストスコア賞



上から。Aクラスの
峯澤克之(メイプル
ポイント)、Bクラス
の須長雄介(甲斐ヒルズ)。



快晴微風の爽やかな競技日和。

Green Keeper

困難な状況を解決してこそ
コース管理の存在感に

秋山CC
伊藤幸司グリーンキーパー

山梨に生まれて39年になりますが今年の降雪は1メートルを超え、3月～4月は毎日が除雪作業でした。コースへの道路が4日も不通になるなど初めての経験です。

異常気象であれば管理マニュアルは通用しません。毎朝「グリーンの顔を見て作業を決める」ことにして、油断は決してしていません。夏の暑さも冬の寒さもアップダウンのある地形も、状況を読んでの緊張の作業が続きます。全グリーンを同じ「顔」にして、お客様をお迎えしています。



ではの緊張感が漂い、応援の皆様も落ちつかぬ様子で見守っていました。見事に優勝を遂げた都ゴルフ倶楽部、2位にメイプルポイントゴルフクラブ。当倶楽部の結果は3位入賞と、開催倶楽部のプレッシャーを受けながらも入賞を果たすことができ、ブロック大会へ駒を進めました。今競技を開催するにあたり、関東ゴルフ連盟鶴田理事、竹村競技担当委員長をはじめとする委員の皆様、また開催にあたり、ご尽力いただきました皆様のおかげで無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。(秋山カントリークラブ支配人・清水一男)



左右どちらかに
トラップが待ち構え
正確な方向性で回避する。



山梨 秋山カントリークラブ

会場予選 2年連続の開催ながら大雪でコース整備に遅れも

各倶楽部代表選手の皆様におかれましては、大変熱心に練習ラウンドに会場されておりました。競技当日は朝から快晴、微風の好天に恵まれましたが、日中は気温が27度まで上がり、少し暑いぐらいの状態になりました。定刻の8時スタート。多くのギャラリが見守る中、選手の皆様は緊張と不安を背中を感じさせながらスタートし、団体戦なら

本年9月に開場28周年を迎えます。昨年の女子倶楽部対抗予選に続き、今年は5月23日(金)に関東倶楽部対抗と、2年連続の山梨会場予選となりました。今回、ブロック大会の開催会場が山梨県というところで、開催倶楽部は予選シードで16から15倶楽部参加の予選となりました。

昨年の反省を踏まえ従業員、分科委員、女子研修会、力を合わせて競技にのぞみました。今年は過去に経験のない大雪となり、予定していたコース整備などもできぬまま競技を迎え、選手の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

第2ブロック

本年9月に開場28周年を迎えます。昨年の女子倶楽部対抗予選に続き、今年は5月23日(金)に関東倶楽部対抗と、2年連続の山梨会場予選となりました。

第1ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月27日(火) 参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数4



1位 初穂カントリークラブ / 463



2位 メイレイクヒルズカントリークラブ / 472



3位 藤岡ゴルフクラブ / 473



4位 草津カントリークラブ / 474



お見送りするロイヤルオークCCチーム



ベストスコア賞



左から。Aクラスの小野里篤雄(ロイヤルオーク)、Bクラスの梅澤吉朗(初穂)。



左から。ロイヤルオークCCの小野里キャプテン、有賀常務理事。



300ヤード超のドライビングレンジ。



開催倶楽部、ロイヤルオークCCの代表選手と関係者。

名峰・榛名山の
南麓に開場して40年
新緑に展開するオアシス。



群馬

第1会場予選

ロイヤルオークカントリー倶楽部
(JGMゴルフクラブ・高崎ロイヤルオークコース)
青空の下にスタート。2位以下は1打差の大混戦

第1ブロック

当倶楽部は榛名山の南麓に広がり、本年10月で開場40周年を迎えます。その記念すべき年に、関東倶楽部対抗群馬第1会場予選に推挙いただきましたことは、大変光栄であります。

平成7年以來、19年ぶりとなる開催が決定してから、各倶楽部の代表選手に最高のプレーをしていただけるよう、従業員が一丸となり準備を進めてまいりました。今年の群馬県は2月に記録的な大雪に見舞われ、春先の芽吹きを心配いたしました。今年、グリーンキーパーを中心に管理課スタッフの努力により、ますますのコンディションで皆様をお迎えすることができました。

前日の雨天から一転、素晴らしい晴天に恵まれ8時、定刻どおりスタートしました。競技はブロック大会出場枠をかけ、最終組の結果次第と白熱した戦いが展開され、スコアがボードに記載

されるたびに歓声とともに大きな盛り上がりを見せました。

終わってみれば、初穂カントリークラブが大差で見事優勝。2位から4位はそれぞれが1ストロークの僅差となりました。当倶楽部は惜しくも5位と予選通過はなりませんでしたが、ホスト倶楽部として選手の皆様をお見送りする会員の、安堵の表情を忘れることはありません。この歴史ある競技を通じて、従業員に大変貴重な体験をさせていただきました。今後の運営に必ず活かされるものと確信しております。

最後に、競技関係者の皆様、参加倶楽部の選手の皆様ならびに関係者の皆様のご協力のおかげで、無事に終了することができましたことに心より御礼申し上げます。(ロイヤルオークカントリー倶楽部支配人・本藤亮)



第1ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月29日(木) 参加倶楽部数15 / 通過倶楽部数3



1位 ツインレイクスカントリー倶楽部 / 455



2位 関越ハイランドゴルフクラブ / 457



3位 鳳凰ゴルフ倶楽部 / 458



ベストスコア賞

高橋章平(鳳凰)。



森の中の池が
行手を阻む
グリーンも手強い。

群馬 富岡ゴルフ倶楽部

第2会場予選 猛暑日の熱戦に選手の気迫が雷雲も遠ざけた

競技結果は天候とあわせて混戦となり、ツインレイクスカントリー倶楽部が2打差をつけて優勝し、ブロック大会に進出。第2位は関越ハイランドゴルフ倶楽部、1打差の3位には鳳凰ゴルフクラブで、めでたくブロック大会へ進出できました。

群馬第2会場予選競技は、県内15倶楽部・120名が参加して開催されました。2月の豪雪の影響に悩まされながらも、参加選手を絶好のコンディションでお迎えすべく、コース管理担当者一同で万全の整備に取り組んでまいりました。指定練習日と競技当日は、ご参加選手からも沢山のお褒めの言葉をいただきました。当日は晴天に恵まれ、選手はギャラリーの拍手声援を受け、独特の緊張感の中でスタート。気温も30度と猛暑日になり、まさしく熱闘を繰り広げました。午後になると上州名物の雷雲が発生。雷鳴轟く中、一時は競技の中断になるかと、関係者一同緊張する場面もございましたが、運よく雷雲が接近することなく無事に競技を終了しました。

特筆すべきは2位から5位までの倶楽部がそれぞれ1打差でひしめきあったこと。つくづくゴルフの1打の大切さ、団体競技の難しさを感じさせられました。最後になりましたが、本競技の準備から須崎競技担当委員長をはじめ競技委員、事務局、参加倶楽部の皆様に多大なご指導・ご支援を受け、無事に終了できましたことを深く感謝申し上げます。当倶楽部スタッフ一同も、貴重な経験ができたことを感謝申し上げます。(富岡ゴルフ倶楽部営業部長・小保方芳男)



開催倶楽部、富岡GCの代表選手と関係者。

第1ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月23日(金) 参加倶楽部数17 / 通過倶楽部数4



1 位 鷹ゴルフ倶楽部 / 450



2 位 新パークレイカントリークラブ / 450



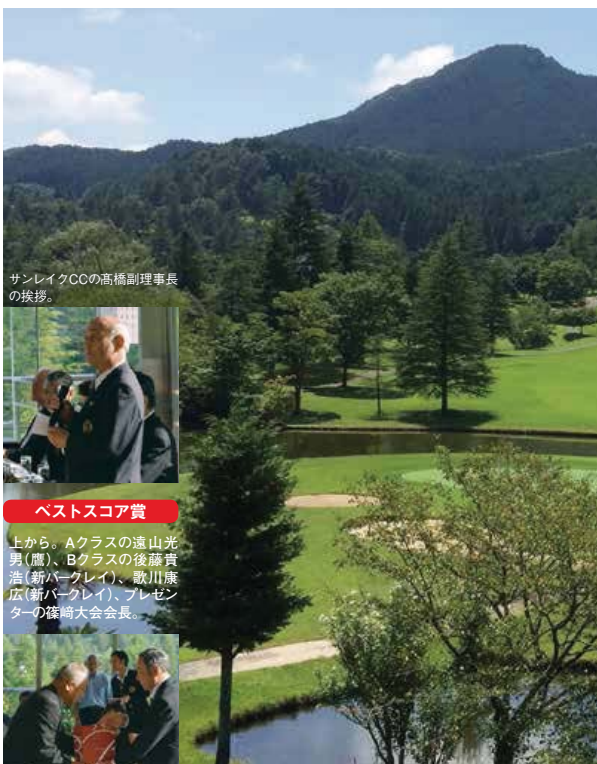
3 位 矢板カントリークラブ / 453



4 位 ファイブエイトゴルフクラブ / 456



開催倶楽部、サンレイクCCの代表選手と関係者。



サンレイクCCの高橋副理事長の挨拶。



ベストスコア賞

上から。Aクラスの遠山光男(鷹)、Bクラスの後藤貴浩(新パークレイ)、歌川康広(新パークレイ)、プレゼンターの篠崎大会会長。



のご協力に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。(サンレイクカントリークラブ支配人・千川晶三)



陽光に輝く池と小川
東コースは
8ホールが池がらみ。



関東倶楽部対抗栃木第1会場予選競技が5月23日(金)、当倶楽部におきまして、17倶楽部の参加を得て行われました。

競技に向けてKGA競技委員会のご指導のもと、スタッフ一丸となつて運営の準備をまいりました。それ以上に事前練習など、各倶楽部の選手をはじめサポーターの皆様、熱心さとマナーの良さが大変印象的で、当倶楽部でも大いに参考になりました。

競技当日は朝のうちは雲の多い空模様でしたが、次第に晴れ間が見え、穏やかな一日となりました。

競技は1位と2位が同ストローク、3位と4位も拮抗した展開で、また、5位から8位が同ストロークという結果でした。最後のプレーヤーの成績がスコアボードに記入されるまで、気の抜けない状況でした。

当倶楽部の選手も、ブロック大会進出に向けて一致団結して臨んでまいりましたが、善戦かならず8位という成績に終わりました。残念ではありましたが、開催倶楽部での出場ということで、思い出深い競技になったとうれしく思います。

最後になりますが、篠崎大会会長、豊泉競技担当委員長をはじめ、競技委員、運営委員の皆様のご指導、ならびに各倶楽部の選手および関係者の方々に感謝いたします。



栃木

第1会場予選

サンレイクカントリークラブ 南・東コース

熾烈な戦いの中、各選手団のマナーの良さに感服

第1ブロック

第5ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月22日(木) 参加倶楽部数16 / 通過倶楽部数4

ブロック予選競技会



1位 ディアレイクカントリー倶楽部 / 457



2位 サンヒルズカントリークラブ / 460



3位 宇都宮カンツリクラブ / 470



4位 風月カントリー倶楽部 / 472



倶楽部対抗栃木第2ブロック予選競技
平成26年5月22日 主催 関東ゴルフ連盟 会場 あさひヶ丘カントリー



日光コース18番グリーンを見つめるギャラリー。



上から。中島大会会長、あさひヶ丘CCの
小国副理事長、横塚
競技委員長。



ティショットは豪快に
ただしラフに入れると
樹木が迫り次打を阻止。

ベストスコア賞



左から。Aクラスの和田学(風月)、Bクラスの笠井昌孝(鶴)。



最後となりますが、不慣れな私たちに詳細なアドバイスをいただきました多勢競技担当委員長をはじめとするKGAの皆様、心から感謝申し上げます。今後この素晴らしい関東倶楽部対抗の繁栄を、心よりお祈り申し上げます。
(あさひヶ丘カントリークラブ 総支配人・笹川徹)



終日賑わったギャラリープラザ。



筑波コース1番のティショットを応援するギャラリー。

栃木

あさひヶ丘カントリークラブ 筑波・日光コース

第2会場予選

五月晴れの開場記念日の当日に、この競技を開催

ホールでは緊張気味の選手を、各応援団が温かい声援でバックアップされている姿こそが、倶楽部対抗の醍醐味です。プロトナメントのような歓声と拍手で、盛り上がりを見せていました。
参加16倶楽部が予選を突破するか否かを確認するために、プレー終了後のスコアボード前は歓声とため息。そして一番大きな歓声をあげたディアレイクカントリー倶楽部がトップ通過されました。

グリーンキーパーを中心としたコース管理チームが、4時30分よりコースへ。グリーンモア4台がいっせいに刈り込みを開始し、大会準備は整いました。7時30分、スタート

大雪からコース整備が遅れ、心配ではありましたがスタッフ一丸となつて、コースコンディショニングおよび運営の準備に努めました。開催当日は前日の悪天候から一転、五月晴れで選手をお迎えすることができました。

5月22日は、あさひヶ丘カントリークラブの37年目を迎える開場記念日。新たな歴史が、この競技によって刻まれました。



朝の日光コース18番グリーン。



早朝の練習グリーン。

第4ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月21日(水) 参加倶楽部数17 / 通過倶楽部数4



1 位 早月ゴルフ倶楽部佐野コース / 479



2 位 日光カンツリー倶楽部 / 484



3 位 鹿沼72カントリークラブ / 485



4 位 那須小川ゴルフクラブ / 494

ベストスコア賞



左から、Bクラスの小木久(鹿沼72)、中島正春(早月・佐野)、Aクラスの磯誠一(塩原)。練習場の打席は芝の上から。



Green Keeper

最近の気候変動に
気の抜けない日々です

那須伊王野CC
伊藤政昭グリーンキーパー

競技当日が雨でなければ、高速グリーンを選手の皆様に試していただく予定でした。とはいえ大雨対策として、事前に浸透剤を用いて排水を促進しましたので、グリーン面の水浮きは防ぐことができました。当日の練習場は東コースの芝面に設定しましたが、さすが上級者の皆様だけに、芝の修復作業は容易に解決しました。

那須連山を望む雄大な景観に恵まれた当コースを、秋晴れの日にお楽しみください。冬場の降雪も少なく、乗用カートでのプレーは快適です。ベント芝のワングリーンは、年間を通して刈り高3.8ミリと決め、肥料を抑えて芝を伸ばさないようにしています。日陰になる2、3ホールは、今秋に現グリーン南側に別に造成する予定です。



那須連峰を望む
ダイナミックな景観を
満喫できる北コース。



栃木

第3会場予選

那須伊王野カントリークラブ 北南コース

大雨と強風の悪条件ながら応援団は終日エールを

第4ブロック

5月21日の開催日に備え、キーパーははじめコース管理課が全力でコースコンディショニングを整え、グリーンスピード9.5、コンバクション13と、当倶楽部としては最高のコンディショニングに仕上げていましたが、当日はあいにくの大雨。7時30分のスタート開始から全員が、レインウェアを着用しながらのラウンドとなりました。10時頃より雨に加え風も強くなり、さらに寒さも加わって、館内には季節外れの暖房を入れる始末。テントスペースのテントも飛ばされるような悪条件の中、選手たちは倶楽部代表という重責を担って、黙々とプレーしていました。

競技前日に天候悪化を懸念して、ホテル内のレストランに応援席を設けておりましたが、ほとんどの方はテント内にて寒さに震えながら、一生懸命頑張っている選手を応援していました。

大雨によるコースコンディショニングの悪化で、競技中止になる懸念もありましたが、フェアウェイバンカー内には多少の水溜まりができたものの、幸いグリーン上は最後までカジェアルウォーターとならずに、無事競技を終了することができました。

17倶楽部の選手とギャラリィを含めると、300名程度の来場者がいたと思われるのですが、腰痛悪化のため一人のNR者が出たものの他は全員ホールアウトし、ギャラリィも誰一人お帰りになつた方はいませんでした。

当倶楽部にとって、本年最大のイベントは無事終了し、今までの気疲れから解放され安堵しました。増田競技担当委員長をはじめ役員の方たちの、細かな気配りと正確なジャッジメントにより、無事競技を終了できましたことを感謝し、心よりお礼申し上げます。

(那須伊王野カントリークラブ 支配人・田代憲司)



雨の1番ホールをスタート。



左から。那須伊王野CCの小山田競技委員長、武蔵理事長、松本大会会長。



第4ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月20日(火) 参加倶楽部数24 / 通過倶楽部数5



1位 ノースショアカントリークラブ / 458



2位 大洗ゴルフ倶楽部 / 461



3位 美浦ゴルフ倶楽部 / 462



4位 ワンウェイゴルフクラブ / 462



5位 ニッソーカントリークラブ / 464

Green Keeper

スタッフ一同の努力で 12フィートの高速グリーン

浅見CC

山崎貴司グリーンキーパー

倶楽部を代表された選手の皆様に、ベストなコンディションでベストプレーをしていただくために、昼夜を問わずスタッフ全員一丸となり、試合前日まで早朝ならびに午後それぞれ1回ずつ刈り込を実施した結果、競技当日はフェアウェイ(13ミリ)、ティー(12ミリ)、ラフ(35ミリ)、グリーンは刈り高2.8ミリ、速さは12フィートに上げることができました。

私の趣味は植物観察のため、芝が順調に生育してお客様に喜ばれるのは、仕事の遣り甲斐にもつながります。特にグリーンは速いほど好まれますが、27ホールのクオリティを維持するのに苦労しています。9ホールごとに芝種も違えば土壌(サンド・土)も違います。苦勞が多くても、お客様の笑顔のために明日も頑張ります。



浅見CCの片石総支配人。

(浅見カントリー倶楽部
総支配人・片石潤旺)

として他倶楽部選手の方々をお見送りする選手の姿には、来年に向けての決意が感じられました。

末筆ではございますが、滝口競技担当委員長をはじめ関東ゴルフ連盟関係の皆様、当倶楽部での開催にあたりご尽力いただきました、すべての皆様のおかげで無事終了することができましたこと、心より深謝申し上げます。

ベストスコア賞



右から。Bクラスの幸田恭典(ニッソー)、増子敬(白帆)、Aクラスの池田貴久(ワンウェイ)。



ホスト倶楽部として全員でお見送り。



左から。浅見CCの荒井理事、笹館キャプテン。



左から。浅見CCの達川社長、安蔵大会会長。

景観美と戦略性の 池が攻略のポイント 距離と方向合せを慎重に。



茨城 浅見カントリー倶楽部 北・中コース

第1会場予選 「グリーンが素晴らしいが難しい」とお褒めの言葉

当倶楽部は茨城県中央部に位置しています。春には日本三名園のひとつ偕楽園の梅林、夏は海水浴、秋には野菜、果物などの絶品の特産物に恵まれた土地柄です。

本競技の使用コース(北・中)の設計者は、名匠・浅見緑蔵氏です。設計者本人の氏名をそのままコースの名称とし、昭和49年オープン以来、本年度で開場40周年を迎えるにふさわしい本競技の開催は、まさしく記念すべき大行事となりました。

コース整備、運営については開催決定からこの日に照準を合わせ、参加選手にご満足いただけるよう準備を進めてまいりました。

当日のグリーンの状態につきましては、刈り高2・8ミリ、グリーンスピードは12・0の7の設定により、コースコンディションは最高潮の域に達したと思います。

また、心配しておりました天候につきましては、数日前の雨予報が一転、薄曇りから晴天となり、気温も22度とこれまた絶好のコンディションとなりました。

選手の皆様は緊張の面持ちで「さあ

いくぞ!」との気合いと、倶楽部の誇りを背負った表情は、まさしくチーム戦にふさわしい緊迫感溢れる雰囲気でした。

ハーフ終了後の選手の皆様からは「グリーンの状態がとても素晴らしい。でも大変難しい!」との声をあちらこちらで耳にしました。

熾烈な戦いが繰り広げられ、ホールアウトの度に一喜一憂の歓声が聞かれ、各倶楽部一丸となつて光景は、倶楽部対抗ならではの感動すら覚えました。

競技結果につきましては、優勝がノースショアカントリークラブの458ストローク、準優勝は大洗ゴルフ倶楽部の461ストローク、第3位、第4位は同ストローク462の美浦ゴルフ倶楽部、ワンウェイゴルフクラブ、第5位が464ストロークのニッソーカントリークラブと、大接戦となりました。

当倶楽部チームは地の利を活かして、5位入賞を目標に臨みましたが、惜しくも5位との差が3ストロークの8位と、予選突破はならなかった。

そして表彰式後、ホスト倶楽部



開催倶楽部、浅見CCの代表選手と関係者。

第5ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月23日(金) 参加倶楽部数23 / 通過倶楽部数5



1位 富士カントリー笠間倶楽部 / 434



2位 奥戸ヒルズカントリークラブ / 458



3位 静ヒルズカントリークラブ / 458



4位 江戸崎カントリー倶楽部 / 458



5位 茨城バシフィックカントリー倶楽部 / 459



Green Keeper

グリーン面の
なめらかさで
スムーズな転がりを

水戸・G・C
坂戸 望コースマネージャー

水戸・G・C
のグリーンは
傾斜がきつ
い場所があ
るので、グ
リーン面のな
めらかさで
10フィートのスピードを出せるよ
うに整備しました。無事に開催
を終えて安心しました。

ベストスコア賞

上から。Aクラスの
福島順信(江戸崎)、
宇佐美正仁(金砂
郷)、Bクラスの吹
野耕一(富士笠間)。



左から。水戸・G・Cの根本競技委員長、北峰統括事業部長、
海老原大会会長。



お見送りする水戸・G・Cチーム。



西は池を巧妙に配置
南は庭園風の趣
歴史と伝統のコース。

茨城 水戸・ゴルフ・クラブ 南・西コース

第2会場予選 裏方で協力いただいた会員のボランティアに感謝

コース整備に力を入れ無事に開催当日
を迎えることができました。
当日は幸いにも天気恵まれ晴天の
中、選手が7時30分の定刻にスタート
されました。昼過ぎからはトップスター
トの選手があたりはじけると、マスター
室前に設けたスコアボード周辺から、
歓喜の声があがっていました。
当日は大きなトラブルもなく無事、
競技が終了しました。これも会員様・
従業員が一致団結して準備を行い、水

関東倶楽部對抗茨
城第2会場予選が23俱
楽部のご参加をいた
だき、当倶楽部で開催
されました。
水戸・ゴルフ・クラ
ブは昭和41年10月10
日に開場し、昭和58年
から62年には日本プロ
ゴルフマッチプレー選
手権が開催されました、
歴史と伝統あるチャン
ピオンコースでござ
います。
由緒ある本競技を成
功させるべく、数か月
におよび水戸・ゴルフ
クラブ各分科委員様と
スタッフ、倶楽部全体
が一丸となつて準備を
進めてまいりました。
選手の皆様に存分
に実力を発揮してい
ただけるコースコン
ディ
ションの提供を目指し
、

戸・ゴルフ・クラブ各分科委員様がボ
ランティアで、フォアキャディーや案内
係として活動していただいた成果と感
謝しております。
また本競技開催に際し、絶大なるご
協力をいただいたKGA競技委員の皆
様はじめ関係各位、ならびに競技を盛
り上げていただいた選手の皆様、そし
てサポートしていただいた水戸・ゴル
フ・クラブ各分科委員の皆様に、御礼
申し上げます。(水戸・ゴルフ・クラ
ブ支配人・丸藤克行)



開催倶楽部、水戸・G・Cの代表選手と関係者。

第3ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月19日(月)参加倶楽部数21 / 通過倶楽部数5



1位 川越カントリークラブ / 474



2位 東松山カントリークラブ / 474



3位 石坂ゴルフ倶楽部 / 481



4位 寄居カントリークラブ / 483



5位 川越グリーンクロス / 485

Green Keeper

松林の適切な管理により
松食い虫被害が激減しました

東松山CC
南 健雄グリーンキーパー

関東アマ予選から間を置かずに、今回の埼玉第1会場予選の開催でした。気候も不順でしたので、かなり神経を使いました。両競技とも速さ10.5フィートのグリーンを、選手にご提供できてホッとしました。

夏場の異常高温対策として本グリーンに扇風機を設置し、芝を健康に保っています。通年、速さ10フィートが可能です。新種芝の研究も怠りません。この地は雨が少ないので、溜め池の貯水を活用します。コース内の池はハザードとしてのゲーム性も高めています。

開場50年を経て、自慢の松林の剪定が課題です。繁殖しすぎた松を適切に管理して日照と通風、さらに根元まで水が行くようにしています。



からの「お疲れさま」の声が掛けられます。スコアが次々に書き込まれていき、ボードの前は多く人が集まり、熱戦の結果を見守っています。この光景がまさに倶楽部対抗の原風景です。悲喜こもこものこの場所は、倶楽部対抗のすべてを物語っているようです。

いつもと変わらぬ静寂にあふれたコースのたたずまいに戻り、なにもなかったように日が暮れていきました。選手の皆様、素晴らしいプレーをありがとうございました。役員の皆様、ご指導ありがとうございました。(東松山カントリークラブ 総支配人、若松敏夫)

ベストスコア賞



左から。Aクラスの金山将(川越グリーン)、Bクラスの上原一憲(石坂)、高橋雅也(川越)。



左から。東松山CCの谷競技委員長、石田理事長、池谷大会会長。

第3ブロック

埼玉 東松山カントリークラブ 東・中コース

第1会場予選 競技開催の実績を活かし万全のコンディションに

4月14日には関東アマチュアゴルフ選手権第4会場予選競技が当倶楽部で行われ、その後からグリーンの更新作業で約1か月にも満たない短い期間に、グリーンの仕上げを行わねばならず、グリーンキーパーも苦労しました。駐車場を確保し、かつギャラリーに快適な休憩所を提供したいという考えから、テントに代え、クラブハウスの2階にギャラリープラザを設けました。エア

14年ぶりの倶楽部対抗です。この間、当倶楽部はコースの大幅改修、カート道路の整備、コンペルームの改修などが進み「会員が愛し誇りに思うゴルフクラブ」作りが大きく進んできました。昨年は開場50周年を迎え、記念フェスティバルや藤田欽哉メモリアル杯などの記念行事を行い、さらにコースレイアウトの再査定も終え、皆様をお迎えするに絶好のタイミングとなりました。

KGAの競技を毎年引き受け、また平成21年には関東女子倶楽部対抗埼玉会場予選を引き受け、KGA競技に慣れているとはいえ一大イベントの開催です。前夜まで準備に追われました。選手権第4会場予選競技が当倶楽部で行われ、その後からグリーンの更新作業で約1か月にも満たない短い期間に、グリーンの仕上げを行わねばならず、グリーンキーパーも苦労しました。駐車場を確保し、かつギャラリーに快適な休憩所を提供したいという考えから、テントに代え、クラブハウスの2階にギャラリープラザを設けました。エア



比企丘陵の地形を活かし
日本庭園の美しさをもつ
「日本型クラシック」の名コース
藤田欽哉氏の晩年の傑作。



第3ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月26日(月)参加倶楽部数21 / 通過倶楽部数5



1 位 岡部チサンカントリークラブ / 455



2 位 鴻巣カントリークラブ / 462



3 位 鳩山カントリークラブ / 468



4 位 入間カントリークラブ / 473



5 位 大宮国際カントリークラブ / 476

高橋大会会長からは賞杯授与のあと、本競技が盛会であった喜びと今後ますます盛り上げていきたい旨のご挨拶を頂戴しました。

優勝は岡部チサンカントリークラブ、個人でもベストスコア賞を獲得された小川キャプテンが代表して、喜びの挨拶を述べられました。当倶楽部もホームコースの利を活かし、4位に入賞してブロック大会進出となりました。

最後に、競技担当委員長はじめKGA委員の皆様には、下見から競技当日の運営まで、私どもコース側に一段のご配慮をいただいたの開催となりました。おかげさまでうまく連携し、競技を成功させることができました。心より感謝申し上げます。

(入間カントリークラブ支配人・新井勝)



左上から。入間CCの吉田社長、坂入副競技委員長、河内取締役。



入間CCの役員と代表選手。



埼玉

第2会場予選

入間カントリークラブ

恵まれた観戦ポイントに終日応援の拍手と声援

第3ブロック

関東地方は2月の記録的な大雪に見舞われ、入間カントリークラブも甚大な被害を受け、コース作業は倒木の処理と折れ枝の片づけに追われることになりました。そのような中、懸命なコース整備の結果、グリーンをはじめコースコンディションは良好な状態で、当日を迎えることができました。気になる天候も曇り空ですが、選手や応援団の皆様には過ごしやすい一日となりました。

入間カントリークラブは自然の地形を活かして造られたコースで、個性豊かな各ホールは戦略性に富んでいます。

団体戦となるこの競技では、各チームとも練習ラウンドに訪れて、攻略法を研究した様子です。5チームにブロック大会進出のチャンスがあり、チームとしてのようにより攻略していくかは、スコアメイクに重要なポイントとなります。

当日は倶楽部をあげて競技を盛り上げるため、代表選手や応援団と多くの皆様をお迎えする準備をしてまいりました。ギャラリープラザをクラブハウス正面駐車場内に設置し、その場所からは16番ホールの全景が見渡せます。そこをプレーする選手の姿から、白熱した競技の様子が伝わる絶好の観戦場所となりました。

競技は7時ちょうどにスタートしました。Aクラスはアウトコースのロングホールより、Bクラスはインコース



ホールを見渡せる特等席のよう。

のショートホールからのスタートです。10番ホールの194yd・パー3ではティショットに注目が集まります。ワンオンするたびに、大きな拍手と歓声が湧き起っていました。第1打を打ち終え緊張から解放され、スタートしていく選手に暖かい声援が送られます。

また、ブレイクファーストを推奨するKGA競技委員会とプレーヤーの協力により、スムーズなうちに競技は進行しました。

表彰式は和やかな歓談に続き、黒野競技担当委員長からの成績発表ではじまりました。優勝から5位までのブロック大会進出倶楽部の発表に、会場は湧き上がりました。



アウトは広く長く
インは距離が短めだが
第1打の狙いはシビアに。

第4ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月19日(月)参加倶楽部数22／通過倶楽部数5



1位 成田東カントリークラブ／456



2位 木更津ゴルフクラブ／462



3位 鹿野山ゴルフ倶楽部／463



4位 浜野ゴルフクラブ／464



5位 我孫子ゴルフ倶楽部／466



順位は下馬評どおり、成田東カントリークラブが456ストロークで優勝し、以下、木更津ゴルフクラブ、鹿野山ゴルフ倶楽部、浜野ゴルフクラブ、我孫子ゴルフ倶楽部の順で、この上位5チームが6月のブロック大会に駒を進めることになった。

表彰式とパーティーはクラブハウスで行われた。会場となったレストランには倶楽部別に22卓のテーブルが並び、倶楽部名が読み上げられるたびに当該の席から歓声が上がる。

同じ大学のゴルフクラブOBでもなければ、会社の仲間でもない。たまたま同じ倶楽部に属してゴルフを楽しむ同好の士で、年齢は70代から20代まで、祖父と孫ほどの差がある人たちがたが、どの卓も和気藹々。ノンアルコールな酒席のような盛り上がりだった。ゴルフという絆は魔訶不思議である。

(コラムニスト・久保田誠一)



軽妙な語り口で
笑いの渦、乾杯の
音頭は羽佐間キ
ングフィールズG
C常任理事。



千葉 キングフィールズゴルフクラブ

第1会場予選 22倶楽部から腕自慢選手が参加し難コースに挑む

第4ブロック

雲が薄く広く空を覆っていたが、時おり日光が降り注ぎ、午後からは南風がコースに涼気を吹き込み、若葉がそよいだ。

関東倶楽部対抗競技は数えて25回、その予選会のひとつが「好条件」に恵まれて5月19日、キングフィールズゴルフクラブ(市原市新巻)で行われた。参加者は22倶楽部から176人。

ここでは平成18年から23年までスリーツアーズ(男女プロ、男子シニアプロ)競技会、平成23年には日本女子プロゴルフ選手権が開催されている。この模様をコースやテレビで観戦していた参加選手も少なくないはずで、彼らには気合いが入っていた。

プロの競技や大学対抗戦に漂うビリビリした緊張感はなく、各倶楽部ともメンバーの連帯感と、和やかで爽やかな雰囲気包まれていくことに感銘を受けた。

クラブハウス前の練習グリーン脇には参加22倶楽部の旗がたなびき、会場の一角に張られた各自のテントには、オニギリ、稲荷ずし、サンドイッチ、唐揚げ、バナナなどが並んでいた。会員が選手についてコースを回って声援を送っていたのも、倶楽部対抗競技ならではの光景である。

競技は午前7時30分にアウトとインに分かれてスタートしたが、最終組が18番に上がったのは午後5時を少し回った頃で、まだ陽が高いうちにホールアウトできた。

開催倶楽部、キングフィールズGCの代表選手と関係者。



第5ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月19日(月)参加倶楽部数21 / 通過倶楽部数5



1位 習志野カントリークラブ / 449



2位 平川カントリークラブ / 454



3位 東京湾カントリークラブ / 461

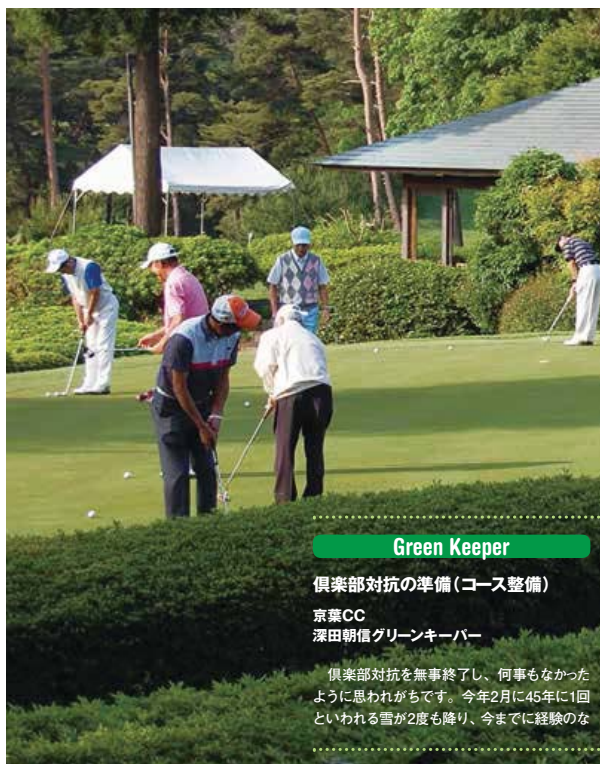


4位 船橋カントリー倶楽部 / 461



5位 千葉廣済堂カントリー倶楽部 / 465

DATA Aクラス6288yards Par72 / Bクラス6495yards Par72
● ベストスコア賞Aクラス・宮辰夫(習志野) 70 / Bクラス・坂輪成章(平川) 68



Green Keeper

倶楽部対抗の準備(コース整備)

京葉CC
深田明信グリーンキーパー

倶楽部対抗を無事終了し、何事もなかったように思われがちです。今年2月に45年に1回といわれる雪が2度も降り、今までに経験のな



左右の林は
予期せぬハザード
立ち木1本も油断禁物。



い除雪を行いました。この雪の影響でのコースダメージに加え、その後の気象も安定しない状況によりコース全体の立ち上がりが遅れました。特に春先からの気象状況がツイシア(暖地型高麗芝)には非常に苦しかったと思われます。

この様な状況でコース整備を行いました。例年と比べ非常に苦労しました。コースセッティングについては「厳しくない」が前提でしたので、公平な整備を心がけました。グリーンのセッティングについても同様ですが、ボールの転がりを9.5フィート〜10.5フィートで調整するのに多少気を使いました。整備する側は遅いかわりかでの調整は案外適当にできませんが、その間は少し面倒なのが正直なところ

です。倶楽部対抗予選競技を無事終了、私もスタッフも非常に勉強になりました。近年のコース管理は機械、資材が日進月歩で非常に良くなりましたが、最終的には人が機械に乗り、人が資材を理解して使います。その点では今回は、コーススタッフの頑張りが非常に大きかったと感じるとともに感謝しています。たった1日の競技でしたので得るものはたくさんありました。本当にありがとうございました。

ベストスコア賞

上から。Aクラスの宮辰夫(習志野)、Bクラスの坂輪成章(平川)。



上/京葉CCの瀬波理事長。左から京葉CCの長沼取締役、菅大会会長。



約200台用意したギャラリ駐車場が満車。



私自身も刈払機で草刈りし、なんと前日に白線を引いて約200台分の駐車スペースを確保することができました。当日、ギャラリ駐車場はほぼ満車となり、昨日までの苦労が報われた気がします。

今回、残念ながら当倶楽部は不参加ということになりましたが、その分、事前準備や当日の運営に専念できたと思います。沢山の倶楽部の方に心配の声をかけていただき、また多くの激励

各担当スタッフも役割割り分担当を明確にし、事前の準備をきっちり進めてくれたため、問題なく当日を迎えることができましたと思います。ただし、今回準備を進めていく上で一番問題になったのは、ギャラリ駐車場です。平成22年に使用した場所は大きなショートゲーム練習場に変身してしまい、とても車を停めることなどできません。そこで何年もの間、伐採した枯松置場にしていた場所を、急ぎと整備することになりました。

当倶楽部で関東倶楽部対抗予選が開催されたのは平成7年、平成22年について3回目となります。昨年、お話をいただいた時は、前回開催より4年しか経ってなかったもので「えっ、もう？」と思うながらも、頭の中は前回の反省点がいっぱい浮かび、改善案が自然に整理されていきました。

京葉カントリー倶楽部
第2会場予選
急ぎよ整備して200台分の駐車スペースを確保



5月19日(月)天候・晴れ。気温・最低14.7度〜最高25.8度、平均20.4度。湿度平均65%。風速・最大7.0m/s〜最大瞬間9.8m/s。平均2.7m/s。風向西南西。コースセッティング・刈り高ティール11mm、フェアウェイ・エプロン12.5mm、ラフ40mm、バントカラー9mm、グリーン3.8mm(ベンクロスベント)、10.7フィート、コンバクション計測無。

のお言葉も頂戴しました。練習ラウンドに何度もお越しいただいた参加倶楽部の皆様に感謝するとともに、コース管理や競技運営について多くのお褒めの言葉をいただき、本当にありがとうございました。(京葉カントリー倶楽部支配人代理・有江豊)



第5ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月26日(月)参加倶楽部数22／通過倶楽部数5



1位 南総カントリークラブ／476



2位 カナリヤガーデンカントリークラブ／479



3位 グレンオックスカントリークラブ／480



4位 ゴルフ倶楽部成田ハイツリー／481



5位 京カントリークラブ／484

成田GCチームによるお見送り。

風景画に遊ぶかの印象
古典を活かした設計手法にして
21世紀を代表するモダンコース。



ベストスコア賞

Bクラスの齋藤 恭正
(成田ハイツリー)。



左から。成田GCの発知競技委員長、伏見理事長、渡邉大会会長。



千葉
第3会場予定
成田ゴルフ倶楽部
異常気象の被害を克服し最高のコース整備を達成
第5ブロック

平成26年5月26日(月)、関東倶楽部対抗千葉第3会場予選競技が、当倶楽部で行われました。参加倶楽部は22。当倶楽部では8年ぶりの倶楽部対抗会場となりました。

倶楽部対抗の会場に決定してからの1年間は、昨今の異常気象により夏場は雨がまったく降らず、芝へのダメージが懸念されておりました。10月には台風被害。大雨による池の氾濫、土砂災害に見舞われ、近年見られないコースの状況となりました。そして今冬は記録的な大雪により、8日間ものクロスを余儀なくされ、苦難続きの状態でした。

しかしながら、コーススタッフの尽力により、コースコンディションも最高の状態に持つていくことができました。グリーンスピードは10・5に、コンパクション11の仕上がり。選手の皆様にも満足いただけたのではないのでしょうか。

当日は強風というゴルフ競技にとっては難しいコンディション。選手の皆様もかなりのストレスを感じたことでしょう。そんな悪天候の中でもめぐることなく熱戦が繰り広げられ、第1位・南総カントリークラブ、第2位・カナリヤガーデンカントリークラブ、第3位・グレンオックスカントリークラブ、第4位・ゴルフ倶楽部成田ハイツリー、第5位・京カントリークラブという結果となりました。

当倶楽部の選手は最後の1打まであきらめず健闘致しましたが、惜しくも予選通過はならず結果は8位でしたが、チームワークは第1位だったと自負しております。ブロック大会に進出されました5倶楽部には、健闘を心よりお祈り致します。

なお、当日は大きなトラブルもなく、無事終えることができました。これも致か月前より従業員が一丸となり、準備を進めた成果だと感謝しております。

いただいたKGA競技委員の皆様をはじめ関係各位、ならびに大会を盛り上げていただいた選手の皆様、そしてサポートしていただいた成田ゴルフ倶楽部の会員の皆様に、心より御礼申し上げます。(成田ゴルフ倶楽部支配人・小坂三郎)



開催倶楽部、成田GCの代表選手と関係者。

第3ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月19日(月) 参加倶楽部数13 / 通過倶楽部数3



1位 多摩カントリークラブ / 463



2位 立川国際カントリー倶楽部 / 470



3位 青梅ゴルフ倶楽部 / 471



佐藤大会会長。



9番ホールのグリーンへの攻防。



Green Keeper

美しい景観を目標に
日々努力の積み重ねです

多摩CC 徳晋・グリーンキーパー



13年ぶりとなる倶楽部対抗にむけて、コース課一丸となって取り組んでまいりました。今冬は比較的温暖な南多摩地域も16年ぶりの大雪となり、多摩カントリークラブも50センチを超える積雪となりました。高麗、野芝の芽吹きが心配されましたが、その後の天候にも恵まれ順調に管理することができました。今回のコースセッティングについては景観の美しさを強調するため、フェアウェイのクロスカット、ラフのゼブラ刈り、バンカーのエッジ出しなどを重点的に実施してまいりました。年間を通じて硬く、速く、スムーズな緑のグリーンを提供することを目標にしてきました。今回は転圧(ローラー掛け)を1回も行うことなくスティンプで11フィート、コンパクション15と、満足できるコンディションに仕上がったと感じております。

今後も今回の経験を活かし、お客様に満足していただくコースづくりに、スタッフ一同励んでまいりたいと思います。

首都東京のオアシス
雄大なアウトと戦略型のイン
ホール攻略を存分に満喫。



8時のスタートからティショットのたびに「ナイスショット!」の声援や歓声、無事スタートできた安堵のため息、選手は団体戦特有の緊張感の中でプレッシャーに押しつぶされないよう、淡々とスタートしていきました。その姿からはかなりの緊張感が伝わってきました。

多摩カントリークラブは東京都の多摩地区最南端に位置し、9番ホールのティラインがクラウンからは副都心や東京スカイツリーが一望できます。緑豊かな丘陵コースです。昭和37年にオープンし開場52年になります。当倶楽部では昭和49年、63年、平成14年、本年平成26年で13年ぶり4回目の開催となりました。今競技では13倶楽部から、代表選手が104名参加されました。1週間前には傘マークが付き雨の予報でしたが日に日に予報も変わり、心配された天気も競技当日には絶好のゴルフ日和。清々しい五月晴れとなりました。一方、日中は気温26度を超え、時おりセミの鳴き声も聞こえ、初夏を思わせる陽気となりました。午前6時から競技委員によるコースチェック。そして競技委員会と無事に終わり、スタートの時刻々と迫ってきました。応援のギャラリは好天のせいか続々と集まり、アウト・インのスタートホールは接近しているため大混雑となりました。

また、団体戦であるがゆえ、選手全員がスタートするまで倶楽部関係者は気が抜けません。選手同様、緊張感が漂っていました。コース整備においては、代表選手が最高のパフォーマンスができるようなコンディションづくりを、日々の管理を大切にしていきたいと思います。2か月前よりKGA競技委員のご指導もあり、適宜手直しを重ねてコース全体を仕上げてまいりました。特にグリーンの仕上げは良く、パッティングに苦勞するプレーヤーも多く気の抜けないプレーが続きました。最終ホールでは、選手のスコアを待ちわぶるギャラリーが耳をそばだててスコアをうかがっていて、一喜一憂の歓声やため息があり、スコアボードへの記入が始まるとさらにざわめきが起こりました。皆様の声援のおかげで当倶楽部は、2年連続の優勝を成し遂げました。2位には立川国際カントリー倶楽部、3位は青梅ゴルフ倶楽部でした。上位3倶楽部がブロック大会に進出します。最後になりますが、松本競技担当委員長、6名の競技委員の皆様、関東ゴルフ連盟の皆様、当倶楽部での開催にあたり尽力いただいた皆様方のおかげで、無事競技を終了できたことを心から御礼申し上げます。(多摩カントリークラブ副支配人・里方久之)

東京

会場 予選

多摩カントリークラブ

1年がかりでコースを整備し競技当日は五月晴れに

第3ブロック

第3ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月20日(火) 参加倶楽部数26 / 通過倶楽部数6



1 位 東名厚木カントリー倶楽部 / 461



2 位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 466



3 位 中津川カントリークラブ / 468



4 位 津久井湖ゴルフ倶楽部 / 471



5 位 東京カントリー倶楽部 / 473



大接戦の展開にスコアボードの前で一喜一憂。



表彰式、豊泉競技担当委員長より成績発表。

ベストスコア賞



左から。Aクラスの鮫島康孝(箱根)、相原康弘(平塚富士見)、Bクラスの鈴木優也(津久井湖)、風間智行(小田原・松田)。



左から。廣幡大会長、小田原GC松田コースの椎名事業部長。



6 位 秦野カントリークラブ / 475



小田原GC松田コースの代表選手。

最後になりますが、開催3か月前からご尽力いただきました豊泉競技担当委員長はじめKGA役員・関係者、落合倶楽部代表をはじめ倶楽部理事・委員、メンバーボランティア、松田警察署

の皆様、そしてグループコースの皆様、開催にあたりご尽力をいただき、無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。(小田原ゴルフ倶楽部松田コース支配人・戸田晴康)



山岳コースならではの
地形を読む楽しみ
頭脳プレーの面白さ。

神奈川 小田原ゴルフ倶楽部松田コース

会場予選「選手に最高の舞台を」と21年ぶり開催に丸で

コースセティングは、OB杭の追加移動が500本にもおよびました。小泉グリーンキーパーはひとりで、300本もの杭打ちをしてくれました。岩盤が多い地面は固く、杭打ちは腕がシビれる大作業でした。

競技結果は優勝が東名厚木カントリー倶楽部、当倶楽部はトータル5打差で準優勝となりました。個性のあるコースゆえに、ホーム倶楽部の優勝が期待されておりましたが、かえってプレッシャーとなり苦戦しました。選手の皆様、大変お疲れさまでございました。

小田原ゴルフ倶楽部松田コースは、東京インターから55分で行ける標高350mの高原コース。湘南海岸と富士箱根山系のおおらかな自然に抱かれた、アウトホームを満喫できるファミリーリゾートです。

21年ぶりの開催倶楽部となり手探りの準備でしたが、KGA役員、倶楽部理事・委員、倶楽部メンバー、グリーン場の皆様と一丸となり、成し遂げることができました。

中でも、フェアキヤデーは異例の16ホール20名体制で配備。メンバーボランティア様をはじめ総勢40名交代制での運営となりました。また、事前準備の



チーム全員でお見送り。

第2ブロック大会進出倶楽部

平成26年5月26日(月)参加倶楽部数25／通過倶楽部数5



1位 伊豆ならやまカントリークラブ／315



2位 富士小山ゴルフクラブ／315



3位 富士宮ゴルフクラブ／318



4位 東名カントリークラブ／320



5位 富士箱根カントリークラブ／323

世界遺産・富士を望む
絶好のロケーション
駿河湾の海風も面白みに。



ベストスコア賞



左から。Aクラスの井端和生(大熱海国際)、Bクラスの釜谷正宏(富士小山)。



左から。東名CCの木村理事長、福田大会会長。



プロ競技でお馴染みの18番はスタジアム風のギャラリースタンド。



応援に熱が入る東名CCの関係者。



予報では午前が曇り、午後が傘マークと心配されましたが、競技当日は今日にも泣き出しそうな曇り空ながら降られることもなく、25倶楽部150名の選手による競技は順調に進行しました。

当日のグリーンコンディションは、ベントグリーン3・4、シングルカット、ステインプメーカー10・5、コンパクション10・9(山中式23・5)。気温は18・19度と過ごしやすかったものの、一日中吹いた8前後(瞬間的に15)の南西の風に影響され、各倶楽部ともスコアが伸び悩み、1位と2位が同スコア(タイ)の規定により順位が決定と混戦模様となりました。

当倶楽部は現在、ベント2グリーンから1グリーンに移行中です。すでに1グリーンになったグリーンは面積が大きくなり、大きなアンジュレーション

の中に細かなアンジュレーションが入り組んで、読みにくいグリーンになりました。従来の2グリーンは富士山から順目というセオリーだったので、この違いもスコアが伸びなかった一因かもしれません。

運営面では、前回の平成19年に開催をお受けした際には経験者がほとんどいなかったため、レストランメニューで若干苦労しました。今回は朝食・昼食とも倶楽部対抗特別メニューとし、スムーズな運営が可能になりました。

表彰式は倶楽部シャケットをまとった選手が一堂に会し、お互いの健闘を讃えあい和気あいあいに行いました。

最後に、ブロック大会に進出した5倶楽部へエールを送り、静岡会場予選競技の長い一日が幕を下ろしました。(東名カントリークラブ支配人・大池誠実)

静岡

会場予選

東名カントリークラブ 愛鷹・桃園コース

ワンダグリーンの読みと強風で代表選手たちも苦戦

第2ブロック

勝技 決競

三井の森蓼科ゴルフ倶楽部

長野で初めての開催は高原のリゾート気分も満喫

標高1200mの高原で華麗な戦い 鹿沼CCが初優勝で栃木の名譽を回復

早朝の蓼科高原は静寂に包まれていた。赤松、唐松、白樺の深い森林の間に洒落た別荘が見え隠れして、住民はまだ眠りの中にあるようだ。

やがて三井の森蓼科ゴルフ倶楽部の進入路に入ると、両側に47倶楽部の旗が迎え入れてくれる。後方を振り返れば八ヶ岳連山を望める。ところが、残念、厚い雲に隠れていた。ほぼ無風、予報では8月25日の最高気温は22度とか。まだ朝の6時なのに駐車場は6割ほど埋まっついで、クラブハウスに入ればすでに多くの人が集まり、冷気を破って熱気すら感じる。さあ、関東女子倶楽部対抗決勝戦の開幕です！

第1組目がスタートした7時15分には小雨から本降りになり、この日ためのチームウェアは雨具で隠れてしまった。それでも標高1202mの高原プレーは爽快だろう。打球音が森に反響して、飛距離は使用クラブを1番手上げた分ほど飛ぶという。



開催倶楽部、三井の森蓼科GCチーム。
下段左端の倉科鈴恵はホールアウトして開催倶楽部代表選手の責任を果たして号泣。



各倶楽部の代表選手は4人(上位3人の合計だが、その何倍もの応援団がともに戦っている。下馬評では男子と同じく、優勝は千葉勢かと思われていた。ただし団体戦の結果は、最後のひとりがホールアウトするまでわからない。様子を見ながら雨宿りをして、選手や応援団の方々と雑談をする。

「どうして各倶楽部のウェアがカブらない(連う)の?」「長野まで何時間?」「昨夜、おそは食べた?」と、競技とは関係ない質問ばかり。

予定より15分ほど遅れて、インスタートの第1組目が前半を終えた。雨はほとんど上がり薄日が射している。選手たちはレインウェアを乾燥室に干す。そんな中で、鹿沼カントリー倶楽部の角田里子の笑顔が輝いている。よほどいいスコアかと思いきや「コースの素晴らしさに感激です!」フェアウェイもグリーンも、高原コースでしか体験できないでしょう」と、コース全面のベント芝に魅了されたようだ。



ボランティアの皆様が大活躍。



関東女子倶楽部対抗決勝競技

平成26年8月25日(月)参加倶楽部数47 出場選手188名



優勝 三井の森 夢科ゴルフ倶楽部
鹿沼カントリー倶楽部 / 229



2位 三井の森 夢科ゴルフ倶楽部
東京湾カントリークラブ / 234



3位 三井の森 夢科ゴルフ倶楽部
京カントリークラブ / 234



4位 三井の森 夢科ゴルフ倶楽部
水戸グリーンカントリークラブ / 237



5位 三井の森 夢科ゴルフ倶楽部
赤城ゴルフ倶楽部 / 237



最優秀選手賞



左から。三井の森夢科GCの藤本社長、竹田KGA理事長。



決勝進出倶楽部

平成26年6月12日(木) 参加倶楽部数17 / 予選通過倶楽部数4



1位 松ヶ峯カントリー倶楽部 / 336



2位 紫雲ゴルフ倶楽部 / 336



3位 湯田上カントリークラブ / 346



4位 笹神五頭ゴルフ倶楽部 / 352



松ヶ峯CCチームによるお見送り。
右から。齋藤大会会長、松ヶ峯CCの吉田理事長。



倶楽部と紫雲ゴルフ倶楽部が336の同スコアとなり、5人目の選手のスコアが明暗を分けることとなりました。紫雲GCは昨年に引き続き、2位に甘んじることとなりました。

優勝しました松ヶ峯CCキャプテンの廣田選手のコメントでは「今回の競技は4人ではなく、5人の力で勝利することができました」ということで、まさしくチームが一丸となって得ることのできた勝利だったと思います。

今競技開催に当たり、齋藤大会会長、三宮競技担当委員長をはじめ、競技委員、運営委員の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。最後にこの新潟県的女子倶楽部対抗が、エチケットマナーとともに技術の向上につながり、そして女性ゴルフファアがさらに増えることを願ってやみません。(松ヶ峯カントリー倶楽部 常務取締役支配人・永井廣幸)



妙高山の裾野に
フラットな27ホール
新緑の広葉樹がまはゆい。

新潟

会場予選

松ヶ峯カントリー倶楽部 神奈・妙高コース

雪解け後の乾燥を克服してベストな状態に回復!

当日は梅雨入りしたこともあって、気温はちょうどよかったのですが、雨が降ったりやんだり、非常に不安定な天候の中でのプレーとなりました。そのせいもあってか、ホールアウトしてくる選手のスコアがなかなか伸びず、開催倶楽部の利を活かした松ヶ峯カントリー

のがあります。スタッフは笑顔の接客を心掛け、レストランでの食事は地域ナンバーワンの顧客満足度を誇っています。

当倶楽部の特徴はコースが非常にフラットで、初心者にも優しく、妙高山をバックにした景観はとても美しいです。

今年度は昨年度より2倶楽部多く、過去最多の17倶楽部が参加しての競技となりました。当倶楽部は県内でも有数のスキージョト地とあって、冬は降雪のためクローズとなり、毎年雪が解けて春になると一からコース整備をしなければなりません。特に競技前の3週間くらい前はまったく雨が降らず、一時はどうなるかと思いましたが、直前になって待望の雨が降り、茶色かった芝生も緑に変わり、競技当日を迎えることができました。

決勝進出倶楽部

平成26年6月6日(金)参加倶楽部数11 / 予選通過倶楽部数3



1位 穂高カントリークラブ / 311



2位 上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 / 326



3位 南長野ゴルフ倶楽部 / 334

ベストスコア賞



丸山みち子(穂高)



左から。松本CCの大嶋競技委員長、久保田副理事長、八木大会会長。

争いの様子です。
表彰式は午後3時10分、大蔵競技担当委員長の成績発表にはじまり、結果は穂高カントリークラブが15打の大差をつけて優勝。2位は上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部、3位は南長野ゴルフ倶楽部の、3倶楽部が決勝進出を決めました。当松本カントリークラブは地元開催のプレッシャーもあり、今回もほぼ定位置に収まることとなりました。
表彰式は恒例となっている最下位チームのキャプテンによる「決勝進出チームへの激励の挨拶」をいただいております。その頃、雨が降り出しましたので、上位3倶楽部の集合写真はクラブハウス内での撮影となりました。八木大会会長はじめ、関係者の皆様のご指導ご協力により、おかげさまで本競技を無事終了することができました、心より感謝申し上げます。
(松本カントリークラブ支配人・池上秀)

Green Keeper

選手各位の満足を最優先に
精魂込めて整備しました

松本CC・降旗光行グリーンキーパー

大会前夜からの雨、少しでも小雨になってくれないかと心配しておりましたが、選手の皆様がスタートする時には雨も止み、ホッとひと安心。コーススタッフ一同、選手の皆様に満足していただけるよう努力してまいりました。

ひとつ残念なことは、北アルプス一望を皆様にお見せできなかったことが心残りです。



左から。松本CCの池上支配人、久保田副理事長、塚田常務理事。

長野 松本カントリークラブ

会場予選

雨上がりのスタートは色とりどりのチームウェアで

キャップゴルフ選手権長野ブロック予選競技に続いてのKGA主催競技開催にあたり、選手の皆様に気持ち良く、そして実力を十分に発揮していただけるように、コース整備と清掃にキーパーはじめ従業員全員で取り組み、各部署でもそれぞれの準備を重ねて、舞台を整えてまいりました。
午後2時、掲示板の前にはホールアウトするチームメイトを迎える、応援団が増えてきました。スコアボードに成績が記入されると歓声があがり、どうやら注目3位

長野会場予選競技は、甲信越地方の梅雨入り発表翌日の6月6日に開催されました。午前7時頃には前夜からの雨も止み、霧もあがって時々薄日の差す上々の天気に回復しました。
スターティングホール周辺には、ほとんどの選手がレインスーツを脱いだ、カラフルな勝負服での登場となりました。選手名がコールされるたびに、温かい声援と拍手が送られる倶楽部対抗ならではの雰囲気の中、午前8時に11倶楽部66名の選手による女子倶楽部対抗が、華やかにスタートしました。
開場44年を迎える当倶楽部は標高1000mにあり、檜、穂高、白馬と連なる北アルプスを一望に取める高原コースです。平成23年度関東アンダーハンディ

北アルプスの大パノラマ
標高千メートルの高原に
爽やかな風と陽光。



開催倶楽部
松本CCの代表選手。



決勝進出倶楽部

平成26年6月3日(火)参加倶楽部数11 / 予選通過倶楽部数3



1位 オリムピックカントリークラブ / 326



2位 ヴィンテージゴルフ倶楽部 / 327



3位 甲斐駒カントリークラブ / 336

ベストスコア賞



平林治子(都留)



北の杜CCの清水総支配人。



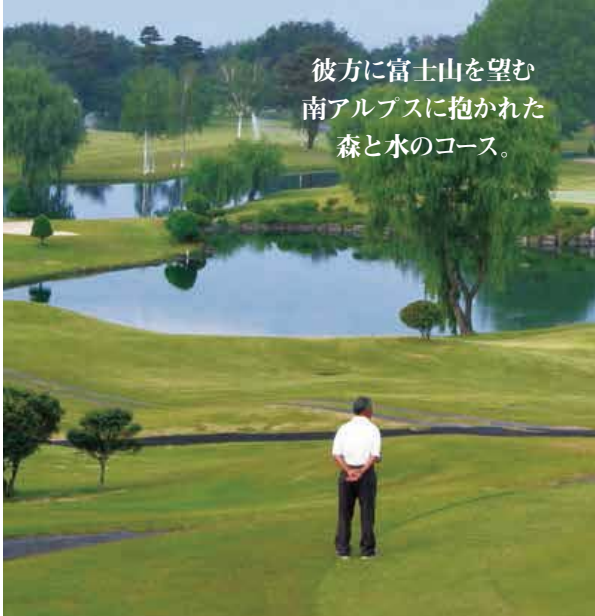
由に選べる場所が多く、パンツ、スカートの違いはもちろん、プレーヤー各々のモチベーションが、一番上がる丈のものを身につけていくようです。ウェアがプレーへの意欲を引き上げてくれる……。これは北の杜カントリー倶楽部で扱うブランド、パリーゲイツの精神にも通ずるところがあります。

ティインググラウンドにプレーヤー名が響き、舞台に立つ選手の一举一動と弾道の行方に、多くの視線が向きます。「ナイッショー!!」の声援と拍手に見送られ、中には颯爽とコースへと走りこんでゆく姿も。

賞賛の掛け声は、最終ホールのグリーンでも聞こえます。「ナイスパー!」。最終ホールは健闘した選手を笑顔で迎え、ねぎらいの声をかける方々で賑わっていました。

さあ、表彰式。予選1位の座を射止

彼方に富士山を望む
南アルプスに抱かれた
森と水のコース。



メイプルポイントGCは、パリーゲイツのウェアで統一。



DATA 5815yards Par72 ●ベストスコア賞・平林治子(都留) 71

山梨 北の杜カントリー倶楽部

会場予選

シャレ
揃いのチームウェアでも個性的に着こなすお洒落

この頃、すっかりお馴染みとなった「今日も暑くなりそうですね」は見事の中。風が吹き込む頃には皆さんと陽が差し込み、暑い一日のはじまりを告げるように、色とりどりの倶楽部フックがはためいていました。

紺色のベーシックなウェアから、上々とも色柄もので、各チームの勝負服が目見え。ボトムスは各選手が自

ら……なのですが、当日は日本一の山だけ拝めずじまいでした。

6月3日の競技当日の早朝、うすうすと薄雲が波打ち、かすんだ空の向こうには名峰・甲斐駒ヶ岳がそびえています。対には八ヶ岳

2月の記録的な大雪被害で1か月のクローズを余儀なくされ、通年営業の当倶楽部には大きな痛手でしたが「無事に営業できることへの、感謝の念を強くする機会になった」と、総支配人の清水は振り返ります。

山々に抱かれた果樹とワインの国、山梨。その北部、北杜市の広々とした高原地帯で、とりわけフラットなのが北の杜カントリー倶楽部の特徴です。

めたのは、オリムピックカントリークラブです。関東女子倶楽部対抗開催の初年度に2位通過して以来、その後3年間は4位が続きました。初出場時を知る津堅典子キャプテンにとって今回の第1位予選通過は特別なもの。挨拶時の柔和な笑顔とは対照的に、乾杯の音頭でコップを渡されても「手が震えて持てません……」と、感動もひとしおだったに違いありません。「乾杯!」の後、会場は笑顔に溢れていました。

選手の皆様や競技関係者が明るく、ほど良くリラックスした姿は、勝敗に捉われ過ぎない柔軟な身のこなしを見たように思います。

この日に関わった、すべての皆様に感謝を込めて。(北の杜カントリークラブ 広告・宣伝部・石川あすか)



Green Keeper

グリーンはほど良い硬さ
ほど良いスピードでお楽しみを

北の杜CC
坂本政彦グリーンキーパー

平均1000mlの大きなグリーンですが、ハザードなどの配置により、狙いは絞られます。山梨は雨が少なく日照が十分で、ゴルフには理想の地です。

毎日、ベストな状態を目指していますから、競技用に特別な準備はしていません。樹木も含めて、コースが汚れて見えたら私の責任です。



開催倶楽部、北の杜CCの代表選手。



決勝進出倶楽部

平成26年6月12日(木) 参加倶楽部数16 / 予選通過倶楽部数4



1位 白水ゴルフ倶楽部 / 320



2位 赤城ゴルフ倶楽部 / 323



3位 藤岡ゴルフクラブ / 323



4位 伊香保国際カンツリークラブ / 323



お見送りする太田双葉CCチーム。

ベストスコア賞



都丸美佐子
(伊香保国際)



Green Keeper

撒水はマニュアル化せず
グリーンごとに調整します

太田双葉CC
周藤光治グリーンキーパー

競技開催が迫る中、長雨
続きでのコース
整備作業でし
た。当日はプ
レに支障なく
安堵しましたが、周囲の雄大な山
並みをご覧いただけなかったのが
残念です。

コースは27ホールの2グリーン。
水はけなどに固有のクセがありま
すので、画一的な整備はしません。



上から、貫井大会
会長、太田双葉CC
の田中理事長、社
運営委員、司会進
行の佐藤副支配人。



開催倶楽部、太田双葉CCの代表選手と関係者。

した。表彰式は和やかな雰囲気の中、
決勝競技出場の4倶楽部の選手たちに
エールを送り、無事に幕を閉じること
ができました。

今回の本競技を通じ、貴重な経験を
させていただき、また当倶楽部
を見つめ直す良い機会も与えて
いただきましたことに大変感謝
しております。また選手の皆様
もチームとしての達成感や団
結力を強く感じたのではないで
しょうか。

最後になりますが、無事に終
了できましたことに対し、貫井
大会会長ならびに運営に携わっ
た競技委員の方々、各倶楽部の
選手および関係者各位に、改め
て敬意と感謝を込めまして、厚
く御礼申し上げます。

(太田双葉カントリークラブ
副支配人・佐藤 薫)

赤城山・浅間山を一望！
日々の整備で
コースを若々しく保つ。



お客様を迎える太田双葉CCのスタッフ。



最後までチームを応援。



レインウェアでもとてもカラフル。



雨が激しさを増す中、真摯に見守るギャラリー。

群馬

会場予選

太田双葉カントリークラブ 愛宕・御所之入コース

雨中の激闘！やがて爽快な青空の下に選手の笑顔

当倶楽部は今年10月
に開場40周年を迎え、
10年ぶりに大役を仰せ
つかり開場となりました。
た。KGA主催の競技
は平成15年に関東倶
楽部対抗と関東アマチュ
アゴルフ選手権を開催
して以来になります。

久しぶりの競技であり
不安の中、従業員一丸
となり作業を進めてま
いりましたが、何日も
降り続いてる雨のため、
コース整備・メン
テナンスなどかなり
の不安材料を抱えて、
一番気苦労が多かつ
たのはグリーンキー
パーをはじめ、コース
管理のスタッフだった
と思います。当日はみ
んなの期待も虚しく雨
が降りしき中、選手
たちはチームのプレッ
シャーを背負いながら、
スタートしていきまし
た。

スタート後の一番の心配事は雷で、
雷レーダーと向き合いながら雷が来な
いよう祈る気持ちでいっぱいでした。
トップの選手たちがホールアウトし
はじめた頃には雨も上がり、全員がホ
ールアウトした頃には青空も見えはじめ、
スコアが書かれる度に、ギャラリーか
らは歓声やため息、お互い讃え合う声
など微笑ましい光景が目に入ってきました。

決勝進出倶楽部

平成26年6月12日(木) 参加倶楽部数26 / 予選通過倶楽部数5



1位 ファイブエイトゴルフクラブ / 258



2位 那須カントリークラブ / 260



3位 鹿沼カントリー倶楽部 / 261



4位 芳賀カントリークラブ / 263



5位 鹿沼72カントリークラブ / 270



雨中でも練習は怠らない。

競技中断、引き上げる選手たち。

最終グリーンをホールアウト。



開催倶楽部、塩原CCの代表選手と関係者。



左から、塩原CCの古泉キャプテン、檀上代表取締役役社、篠崎大会会長。

塩原CCの平山運営委員(左)と大登運営委員。



ボランティアのフォアキャディーが大活躍。



塩原CCの平山運営委員(手前の黄色ウェア)。

多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。心より御礼を申し上げます。(塩原カントリークラブ 副支配人・三浦秀明)

砲台型グリーンが難関 開場45年にして いまだ新鮮な27ホール。



栃木

会場予選

塩原カントリークラブ 南北コース
全員での排水作業もおよぼす無念にも雨で中断へ

当倶楽部は昭和44年4月に開場し、今年で45周年を迎えました。関東女子倶楽部対抗栃木会場予選競技は、KGA主催競技としては20年ぶり、2回目の開催となりました。

競技が終了するまでは、無事に運営できるかと大きな不安を感じつつ、大勢の皆様方からの協力のもと、準備を重ねてまいりました。

競技当日の午前5時、小降りになった雨の中ですべての倶楽部旗の掲揚を終え、スタッフ全員で準備を進めておりました。そして午前6時にクラブハウス開場。その時、雨脚が強くなりあわてて天気予報を再度確認。すると午前9時頃から曇りに変わっており、少し安堵しましたが雨は強くなるばかりで、いつこうに止む気配がありません。

午前7時頃、競技担当委員長よりキヤプテン集合のアナウンスが流れ、スタート時間を30分遅らせる旨の報告がありました。各キヤプテンは冷静に事態を呑み込み、各倶楽部の選手へ伝言し、混乱なく午前8時にスタートを開始しました。

順調にスタートすると裏腹に、雨脚は午前9時を過ぎても弱くなる気配はなく、むしろ強く降り続けておりました。

午前9時45分過ぎ、グリーンへの排水が追いつかないため、競技担当委員長はじめKGAスタッフ、ゴルフ場のスタッフ、運営委員、ボランティアの皆様で懸命にグリーン上の水を吸い取る作業を実施。しかしながら自然の力には太刀打ちできず、午前10時15分に中断を決定。競技担当委員長の判断は、午後12時30分より競技を再開。しかしながら1倶楽部5名のホールアウトは時間的に無理と判断し、各倶楽部の早いスタート選手から3名の、合計スコアの集計に変更するとの決定がありました。そこで各キヤプテンは冷静に判断し、自倶楽部の選手に変更内容を伝えておりました。

12時過ぎに雨脚は弱くなりはじめ、12時30分には予定どおり競技が再開されました。その後、雨脚は弱まって午後3時頃には雨もあがり、午後5時13分に最終組がホールアウトしました。

今回の競技は予想以上の雨量となり、イレギュラー対応となりましたが、皆様のご協力のおかげで競技を終了できました。中断や競技内容の変更などのトラブルを経験したことで、スタッフの勉強になりました。この経験を活かし、次の競技や日々の運営の中で、すべての選手、お客様にご満足いただけるようスタッフ一同で努力してまいります。

最後に、関東ゴルフ連盟の皆様、各倶楽部の選手ならびに応援団の皆様、

決勝進出倶楽部

平成26年6月10日(火) 参加倶楽部数24 / 予選通過倶楽部数5



1位 ニッソーカントリークラブ / 325



2位 江戸崎カントリー倶楽部 / 329



3位 水戸グリーンカントリークラブ / 330



4位 日立ゴルフクラブ / 336

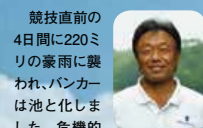


5位 セントラルゴルフクラブ / 337

Green Keeper

集中豪雨にも負けず
復旧跡も残さずに開催へ

アスレチックGC
風田道夫グリーンキーパー



競技直前の4日間に220ミリの豪雨に襲われ、バンカーは池と化しました。危機的状況をスタッフの奮闘で乗り越え「何事もなかったかのように」仕上げました。速さ10.5フィートのグリーンを提供しましたが、ナイスショットへのご褒美として、パットを楽しめるように。

コースはフラットで、豊富な樹木が自慢です。自慢するからには手入れは欠かせません。生きものが相手のこと、日照や風通しの良い環境を心がけています。

当倶楽部は決勝進出とはなりませんでしたが、優勝されたニッソーカントリークラブをはじめ、決勝進出倶楽部の皆様のご健闘をお祈りいたします。

未筆ではございますが、塚原大会会長、松野競技担当委員長はじめ競技委員の皆様、そして参加倶楽部の皆様のご指導ご協力に対しまして衷心より御礼申し上げます。(アスレチックゴルフ倶楽部総支配人・横田美津恵)

四季折々の花に彩られた
庭園風の演出だが
コースはタフ。

ベストスコア賞



香澤良子(江戸崎)

ステージ風に施工したスコアボードが、ギャラリーに好評。



左から。アスレチックGCの西野競技委員長、横田理事長。



茨城

会場予選

アスレチックゴルフ倶楽部

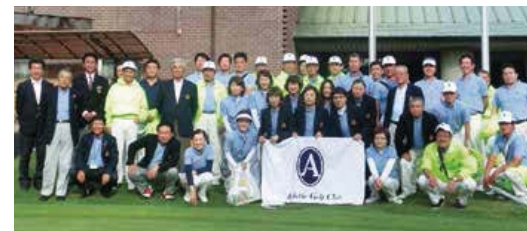
園央道稲敷東ICの開通でアクセスがさらに至便に

平成26年6月10日、関東女子倶楽部対抗茨城会場予選競技が、当アスレチックゴルフ倶楽部にて開催されました。去る4月12日に園央道稲敷東ICが開通し、インターから5分という好アクセスとなつて、今回の競技を迎えることができました。

数年ぶりのKGA主催競技の開催ということで万全を期すべく、プロジェクトチームを立ち上げ、数か月前から始動致しました。関東ゴルフ連盟の松野競技担当委員長はじめ競技委員の方々のご指導を仰ぎつつ、本番に向けてのコースメンテナンス、ご希望のあった授乳室の設置、駐車場のスムーズなご利用方法など、コミュニケーションを重ね、スタッフ一丸となつて準備を進めました。

前日までの大雨の影響で、それまで順調に仕上げてきたコンディションがかなり心配されましたが、当日はビタリと雨が止み、午後には数日ぶりの青空が広がり、絶好のゴルフ日和となりました。今回の茨城会場予選競技は24倶楽部、総勢144名の参加で行われました。

ピンと張りつめた空気の中、スタートしていく選手の皆様、女子競技ならではの賑わいのテント村、競技を終えてスコアボードを真剣に見入る選手や応援の皆様の姿、倶楽部旗を掲げ充実感漂う笑顔で記念撮影される皆様、熱気に満ちた表彰式、各倶楽部の選手たちをお見送りする当倶楽部の選手たちの姿、倶楽部対抗ならではの光景は実に清々しいものであります。



開催倶楽部、アスレチックGCの代表選手と関係者。

決勝進出倶楽部

平成26年6月2日(月)参加倶楽部数23 / 予選通過倶楽部数5



1位 霞ヶ関カンツリー倶楽部 / 323



2位 鳩山カントリークラブ / 329



3位 石坂ゴルフ倶楽部 / 332



4位 岡部チサンカントリークラブ / 333



5位 彩の森カントリークラブ / 335



では、応援団席を屋内のクラブハウスロビーに設け、さらに屋外のガーデン席も利用できるというスタイルで、大変快適な応援ができたのではないかと思います。マスター室前の大きなスコアボードに数字が書かれるたび、一喜一憂する選手と応援団。我が倶楽部が決勝進出5チームに入れるかどうかが、固唾を飲んで最後の選手のスコアを見守っていました。関東女子倶楽部対抗は、男子競技とともに倶楽部にとって最大のイベントのひとつです。各倶楽部代表の皆様を迎えるべく入念にコースの手入れを行い、当倶楽部スタッフもたくさん勉強させていただきました。

最後になりましたが、関東ゴルフ連盟の皆様にはコースへのご配慮と懇切丁寧なご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。(石坂ゴルフ倶楽部支配人・松井清司)

Green Keeper

自然を残した美しいコースが理想です

石坂GC・城田泰光グリーンキーパー

ゴルフコースはプレーの場であると同時に、風景として美しくあるべきです。自然のままに近く、心が安らぐように。私の理想とするコース管理は、プレーを終えたお客様に「良かった」とお褒めいただくよりも「記憶に残る」とのご感想をいただくことです。自然を美しく見せるには人の管理が必要ですが、自然の自由な成長にまかせることも大切でしょう。

グリーンは刈り高3.2ミリの限界まで落とします。今般技は10.5フィートに設定しましたが、通常営業でも10フィートに設定しています。踏圧をかけて速さを出すと日々のバラつきが出ます。



ベストスコア賞



益子美佐子(高坂)

左から。石坂GCの松井支配人、三木理事長、下ノ小林代表理事。



埼玉

石坂ゴルフ倶楽部

会場予選

気温32度の熱き戦い。戦略的コースに選手は苦戦

6月2日(月)、関東女子倶楽部対抗埼玉会場予選競技を無事に終え、開催倶楽部としての責務を果たすことができました。全選手、各倶楽部関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。

競技当日の天候は晴れ。最高気温は32度を記録し、熱中症も心配されるような、梅雨の前とは思えない暑い戦いとなりました。

平成のモダンコースはハザードの演出が多彩でプレーヤーの記憶に残る。



絶好のロケーションの練習場。

決勝進出倶楽部

平成26年6月4日(水) 参加倶楽部数17 / 予選通過倶楽部数4



1位 東京湾カントリークラブ / 310



2位 富里ゴルフ倶楽部 / 312



3位 京カントリークラブ / 322



4位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 328

ベストスコア賞



鈴木智子(東京湾)



富里GCの堀内キャプテン。



ご自由にと置かれた
お菓子は「お・も・て・
な・し」の心。

Green Keeper

芝をいじめず
日々の努力で
高速グリーンに

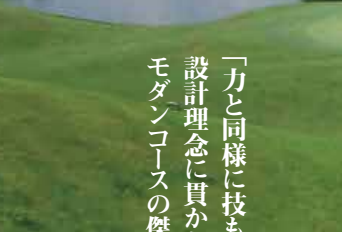
富里GC
北野慎一グリーンキーパー

ゴルフの
魅力満
喫してい
たため
にも、日
々、グ
リーン

ビードにこだわってメンテナ
ンスをしています。ゴルフは
グリーンの速さでコースの印
象は大きく変わります。今
回の競技も細心の注意を払
いながら作業を進め、プレー
ヤーの皆様がバット時にしび
れるような、グリーンづくり
を目指しました。
「グリーンが速すぎる」との苦
情はこれまで一度もありません。
4月に開催されたKGA4
月月例競技では13.5フィ
ートを達成し、杉山選手から
は「最速を経験した」との感
想。この秋、気象条件に恵
まれば14フィートに挑戦し
ます。コースはトータルバ
ランスが大切ですから、グ
ッドショットなら高速グ
リーンで止まるよう、フ
ェアウェイの整備も怠り
ません。



開催倶楽部、富里GCの代表選手と関係者。



「力と同様に技も」の
設計理念に貫かれた
モダンコースの傑作。

DATA 5714yards Par72 ●ベストスコア賞・鈴木智子(東京湾) 68

千葉 富里ゴルフ倶楽部

第1会場予選 14フィートの高速グリーンを目指しスタッフは大奮闘

するために、14フィートのグリーンを日常的に実
現しようと、高い目標に邁進して汗を流
して本競技を迎えました。選手の皆様は
そんなコースの戦略性を楽しみながら、プ
レーをされたことと思います。
戦いを終えた表彰式で、平岩大会会長
と萩原競技担当委員長よりコースにお褒
めの言葉を賜り、スタッフ一同大変感激
をしています。

(富里ゴルフ倶楽部支配人・座間英二)

6月4日は気温26度、
晴れ。絶好のゴルフ日和
の中、17倶楽部の熱戦が
繰り広げられました。
優勝した東京湾カント
リークラブの鈴木智子さ
んは高速グリーンを制し
て、断トツの「68」スト
ロークで、ベストスコア
賞を獲得されました。
トーナメントの時だけ
の速いグリーンではなく
春夏秋冬、ローラーをか
けずに強く転がりの良い
芝を育てるべく、排水・
散水・堆肥・モアの改
良等々、肌理細かいメン
テナンスを行ってありま
す。品質が目に見えて向
上してきたので、コース
スタッフは芝に対する愛
情と情熱をいっそう注
いでいます。

そして最高級のメンテ
ナンスをさらに際立たせ
るために、14フィートの



決勝進出倶楽部

平成26年6月13日(金)参加倶楽部数17／予選通過倶楽部数4



1位 総武カントリークラブ／326



2位 習志野カントリークラブ／328



3位 千葉カントリークラブ／334



4位 成田東カントリークラブ／338



紫CCの藤巻常任理事(左)と高村相談役(右)。



渡邊大会会長(左)と紫CCの窪塚理事長(右)。



開催倶楽部、紫CCの代表選手と関係者。



選手の皆様はじめ競技関係者もコースセッティングに期待されていたのを感じており、コースコンディションづくりや、競技運営の協力で職員が一丸となつて臨めたこと、また無事に終了したことに満足しております。

競技当日は早朝から前日までの雨が、嘘のような晴れとなりました。湿度が高かったせいか雷雲が発生しましたが、幸いプレー中においては雨も降らず、無事に競技が終了し、選手の皆様は楽しみにプレーされていた姿がとても印象的でした。

結果は接戦の末、総武カントリークラブが優勝。惜しくも2ストローク差で習志野カントリークラブ、3位は千葉カントリークラブ。そして決勝進出枠の残り1枠の成田東カントリークラブと鶴舞カントリー倶楽部がタイ



コース改造の成果
理想の地形を活かし
戦略性が飛躍的に向上した。

となり、競技規定により成田東CCが最後の1枠に入り、4倶楽部が決勝進出となりました。

当日は大きなトラブルもなく無事に、開催倶楽部としての役割りを果たせたことにつき、携わって下さった橋本競技担当委員長や競技委員の方々、また運営にご協力いただいた当倶楽部会員の皆様には、改めて感謝申し上げます。

そして、今後も女性ゴルフの競技がますます盛んになることを祈ります。紫CCの代表選手と関係者。

千葉

紫カントリークラブ すみれコース

第2会場予選 天候トラブルの連続に当日の早朝まで復旧作業

平成23年度に、女子倶楽部対抗千葉プロック予選競技を開催したばかりでしたので、次の開催はまだまだ先の話として考えておりましたが、開催予定だった倶楽部の事情により、昨年5月頃に急きょ、当倶楽部での開催依頼がありました。

当倶楽部ではBグリーンの改修工事計画を、昨年11月から約半年間にわたり実施する予定でしたので、競技開催の6月には十分に間に合うと考え、お受けすることにしました。しかし今年2月の大雪の影響で、コースの造成工事が約1か月も遅れ、3月に完了する予定が大幅にずれこみ、6月までに競技を開催できるコースを仕上げるか、心配の毎日でした。

しかし関係各者の協力もあり、ベストな状態に近いコースに仕上げて、安堵しておりました。ところが不運は続くもので、競技3日前に降った200mmの豪雨の影響により、一部バンカーから湧水が発生し、コース課が早朝4時頃よりポンプで水を汲みあげて対応するなど、開催まで日々苦勞の連続でした。



緊張感がギャラリーにも伝わる。



選手たちを見守る応援団。



朝の練習場は真剣そのもの。

決勝進出倶楽部

平成26年6月2日(月)参加倶楽部数12 / 予選通過倶楽部数3



1位 八王子カントリークラブ / 322



2位 相武カントリー倶楽部 / 323



3位 青梅ゴルフ倶楽部 / 332

ベストスコア賞



清水かおり(八王子)



左から。相武CC代表の工藤理事、佐藤大会会長。



華やかな雰囲気のパartyの後、相武CC選手団がお見送り。



多摩丘陵の地形を活かし
ホールの変化は多彩
50年を経て植栽も見事。



寒い地域といえます。暑さや寒さがこもりやすい地形であり、典型的な丘陵地帯のゴルフ場です。適度なアップダウンとグリーン手前のバンカーが戦略性を高め、距離は短いですが油断できないコースレイアウトとなっています。

この度の競技開催コースとして、コースセッティングはもちろん、スタッフ全員で選手・関係者の皆様に気持ち良くお出迎えできるよう、準備を整えてきました。その甲斐あってか当日は事故もなく、また滞りなく競技が進行できたことに、従業員一同ホッとしました。

表彰式では歓喜・安堵・反省と、それぞれの倶楽部でさまざまな感情が見て取れました。決勝進出の3倶楽部には、東京代表として上位を目指して頑張っていた大切なものです。

(相武カントリー倶楽部総務マネジャー・天野祐介)



東京

会場予選

相武カントリー倶楽部

コース整備はもちろん、接客にも万全の準備で対応

6月2日(月)、新緑がいつそう濃く感じられる時期、相武カントリー倶楽部において、東京都内12倶楽部の女子代表選手により、予選通過3枠を争う熱戦が繰り広げられました。

各倶楽部ともに熱心に練習ラウンドを重ねた。競技当日は6月初旬にしては気温が高く、競技委員の方からも、こまめな水分補給をするよう案内があった。暑さ以外は絶好のコンディション。

グリーンは刈り高4・0リ、ステインプメータ19・5リ、コンバクション9という設定でした。ティーマーク、ホールロケーションともに当初の打ち合せどおりで変更なく、競技スタートとなりました。通常営業とは異なるセッティングのため、キヤデール教育には時間をかけ対応しました。

多くのギャラリがスタートホールを取り囲み、否応なく緊張感が高まります。「練習どおりに……」と、心の声が聞こえてくるようでした。15組60名の選手全員が、無事スタートしました。

相武CCの特色としては、夏暑く冬

決勝進出倶楽部

平成26年6月3日(火) 参加倶楽部数20 / 予選通過倶楽部数4



1位 箱根カントリー倶楽部 / 308



2位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 311



3位 相模カントリー倶楽部 / 315



4位 大厚木カントリークラブ / 316

ベストスコア賞



高橋恵美子(伊勢原)

ボランティアスタッフとして
倶楽部会員が大活躍。



開催倶楽部、大秦野CCの代表選手と関係者。

競技当日は早朝より各倶楽部のキャプテンや関係者の方々が続々とお越しになられ、応援者テントやスタートホールは、華やかな女性ゴルファーで賑わいをみせておりました。

8時のスタート時刻から遅れることなくスムーズな進行により、大きなトラブルもなく、表彰式は4時過ぎより行うことができ、各倶楽部の健闘を称えながら散会となりました。

当倶楽部選手はホームコース開催のプレッシャーもあり、4位までの入賞には至らなかったのですが、本当によく頑張ってくれたと思います。

最後に、本競技が無事終了できましたことは、廣幡大会会長をはじめ柴田競技担当委員長、競技委員、参加倶楽部の関係者の皆様、そして当倶楽部メンバーの多大なご理解、ご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。(大秦野カントリークラブ 副支配人・勝俣正博)



朝食バイキングは女性向けに野菜が豊富。



神奈川 大秦野カントリークラブ

会場予選

イノシシ被害の復旧に競技の当日まで懸命の作業

今年の神奈川会場予選競技は、20倶楽部の参加がございました。昨年より2倶楽部増え、賑わいも増したように思います。

週間天気予報をこまめにチェックしている、雨マークがついたり心配されました。当日は暑すぎず、雷雨予報もなく、曇り時々晴れと、まずまずの天候に恵まれたと思います。

当倶楽部での倶楽部対抗開催は、平成19年に男子競技を開催しております。7年前の経験を活かし準備を進めてまいりましたが、やはり女性の競技ということもあり、所々に難問(ロッカー・お風呂場・トイレ・駐車場など)が発生いたしました。なんとかがくりアし開催に至りました。

コースコンディションはというと、今年はいじめよりイノシシの出没が多発しており、練習ラウンドにお越しいただきました選手の皆様には、本当に迷惑をおかけ致しました。競技当日までコース整備が整わず修理地での処置をお願いし、多くの選手が実力を発揮できずに、悔しい思いをされたのではないかと残念に思います。

今年、神奈川会場予選競技は、20倶楽部の参加がございました。昨年より2倶楽部増え、賑わいも増したように思います。

週間天気予報をこまめにチェックしている、雨マークがついたり心配されました。当日は暑すぎず、雷雨予報もなく、曇り時々晴れと、まずまずの天候に恵まれたと思います。

当倶楽部での倶楽部対抗開催は、平成19年に男子競技を開催しております。7年前の経験を活かし準備を進めてまいりましたが、やはり女性の競技ということもあり、所々に難問(ロッカー・お風呂場・トイレ・駐車場など)が発生いたしました。なんとかがくりアし開催に至りました。

決勝進出倶楽部

平成26年6月9日(月) 参加倶楽部数7 / 予選通過倶楽部数2



1位 東名カントリークラブ / 333



2位 裾野カントリー倶楽部 / 337

ベストスコア賞



松尾律子(ギャツビー)



ランのチェックに
練習場の刈り高も
フェアウェイと同様に設定。



選手を歓迎するかのようにつつじが満開。



随所に溢れる笑顔の交歓。



午後から雷をともなった豪雨との予報に反し、朝から快晴微風の競技日和でした。後半はやや雲が出たものの一日晴れの天気、最高気温27度(平均24度)の汗はむほどの陽気の中、7倶楽部42名の選手によって熱戦が繰り広げられました。

当日のグリーンコンディションは、ベントグリーン3・4ミ、シングルカット、ステインプメーター10・2ミ、コンバクシヨン9・2(山中式22・5)。前週の5日から7日の3日間降った雨の影響で、男子の倶楽部対抗競技に比べると若干ソフトなコンディションとなりました。

競技は予想どおり、決勝大会常連組の裾野カントリー倶楽部、ギャツビーゴルフクラブが当初リードしたものの、進行するにつれ他倶楽部選手も健闘し、その差が徐々に縮まり、最終的には開催倶楽部の東名カントリークラブが逆転でトップに立つという、波乱?の展開となりました。2位と3位が同スコア(タイ)の規定により順位が決定)と、どの倶楽部が勝ってもおかしくない熱戦となりました。

表彰式は倶楽部ジャケットをまとった選手が一堂に会し、試合展開同様に熱気あふれる雰囲気となりました。

当倶楽部は立食で200人以上収容できるパーティー会場を有しているのも特徴のひとつですが、選手には着席

静岡

会場予選

東名カントリークラブ 裾野・桃園コース

女子会の楽しさもまた倶楽部対抗の親睦ならではの



できるだけ椅子席をご用意いたしました。この椅子席が好評でした。

表彰式が滞りなく終了し、決勝に進出する2倶楽部にエールを贈った後も、ステージ上での記念写真撮影に、とどまらないゴルフ談義にと、ゴルフ女子会に変じて、ホットに続いていました。(東名カントリークラブ支配人・大池誠実)



9番ホール(422Y・P4)



18番ホール(436Y・P4)

ニスコート・バナーゴルフ・インドア温水プールなどを完備し、総合リゾートとして、皆様のプライベートタイムを心ゆくまでお過ごしいただける施設となっております。

この度、関東ゴルフ連盟に正会員として加盟させていただき、お客様にこれまで以上に満足いただけるよう、スタッフ一同努力いたしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



12番ホール(189Y・P3)



17番ホール(188Y・P3)



9番ホール(573Y・P5)

な池に囲まれており、難易度を高めています。クラブハウスのレストランからは、その18番を眺めることができ、広大な景観を堪能できます。

都心から約50分圏内のアクセスにも恵まれ、関越自動車道・東松山インターチェンジからわずか10分という好立地に位置しております。さらに圏央道も

東名高速と結ばれ、神奈川方面からのアクセスが格段と向上いたしました。

この度、関東ゴルフ連盟に正会員として加盟させていただき、ご来場をいただくお客様により一層ご満足いただけるよう努力を惜しまず邁進してゆく所存です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

18番ホール(437Y・P4)

注／両倶楽部とも準会員から正会員への移行です。

当倶楽部は、浅間山や白根連峰を間近に臨む、群馬県北軽井沢の雄大な軽井沢高原に位置し、標高1300mの爽やかで静かな空気の中に融けこんでおります。平成9年8月1日に開場し、多くの皆様にご愛顧いただきながら、今年17周年を迎えることができました。

コース設計はカナダのシド・パディコム社。設計コンセプトは、軽井沢の豊かな自然特性を活かしながら、どのレベルのゴルファーでも戦略をたてる喜びが味わえ、プレーが楽しめることです。

その言葉のとおり、すべて洋芝で敷きつめられたコースは、全体的にフラットでありながら細かなアンジュレーションに富んでおり、美しくレイアウトされた真白なバンカーやウォーターハザードがプレーヤーの戦略心を高めています。特に最終18番ホールは左右に池を配し、ショットの飛距離、方向性、距離感、またグリーンへの読みとすべてが求められるレイアウトとなっており、ゴルフの醍醐味が味わえます。

プレススタイルは、原則乗用カートによるセルフプレーですが、カートには最新のナビゲーションシステムを搭載しており、安心してプレーをお楽しみいただけます。

また、クラブハウス内および併設された『プレジデントリゾートホテル軽井沢』には、レストラン・ラウンジ・天然温泉露天風呂を備えた大浴場・テ



また、クラブハウス内および併設された『プレジデントリゾートホテル軽井沢』には、レストラン・ラウンジ・天然温泉露天風呂を備えた大浴場・テ

コース設計はカナダのシド・パディコム社。設計コンセプトは、軽井沢の豊かな自然特性を活かしながら、どのレベルのゴルファーでも戦略をたてる喜びが味わえ、プレーが楽しめることです。

その言葉のとおり、すべて洋芝で敷きつめられたコースは、全体的にフラットでありながら細かなアンジュレーションに富んでおり、美しくレイアウトされた真白なバンカーやウォーターハザードがプレーヤーの戦略心を高めています。特に最終18番ホールは左右に池を配し、ショットの飛距離、方向性、距離感、またグリーンへの読みとすべてが求められるレイアウトとなっており、ゴルフの醍醐味が味わえます。

プレススタイルは、原則乗用カートによるセルフプレーですが、カートには最新のナビゲーションシステムを搭載しており、安心してプレーをお楽しみいただけます。

また、クラブハウス内および併設された『プレジデントリゾートホテル軽井沢』には、レストラン・ラウンジ・天然温泉露天風呂を備えた大浴場・テ

雄大な軽井沢高原に佇む個性豊かな18ホール

プレジデントカントリー倶楽部軽井沢
コース設計・シド・パディコム社(6847Yards Par72)
President Country Club KARUIZAWA

〒377-1412 群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢
2032-16
電話 ● 0279-84-6111
FAX ● 0279-84-6112
HP ● <http://www.presidentresort.jp>

開場 ● 1997年8月1日
理事長 ● 金井 元
総支配人 ● 星 勝実
支配人 ● 加納達也(分科委員長 兼務)



「できるだけ自然に」を設計理念に首都圏の36万坪に優雅なオアシス

清澄ゴルフ倶楽部
コース設計・大久保 昌 (7084Yards Par72)
KIYOSUMI GOLF CLUB

〒355-0066 埼玉県東松山市神戸1875
電話 ● 0493-35-3344
FAX ● 0493-35-3343
HP ● <http://www.kiyosumi-golf.co.jp>

開場 ● 1993年10月13日
理事長 ● 木村 道夫
総支配人 ● 佐藤 博
支配人 ● 小澤 勉



当倶楽部は平成5年10月13日に、法人会員ゴルフ場として開場をいたしました。会員は事業法人に限っており、基本姿勢といたしましてはカントリークラブの味わいと、トップエグゼクティブをお迎えするのに相応しい気品と格調を掲げてスタートいたしました。

コースは武蔵野の面影を残す首都圏では得難い、自然をそのままに留める比企丘陵の一角に、36万坪におよぶ敷地に18ホールというレイアウトとなっております。

コースの設計は大久保昌氏で、景観美と戦略性を基本に置く、豊富な経験を持たれている設計家であり、一丁どきだけ自然に」を基本コンセプトとして設計された各ホールは巧みに配置され、自然の地形を活かしたナチュラルで柔らかな線が組み込まれたコースは

姿が美しく、しかもゴルフのゲーム性を十分に追求できるという特色を持つております。

また平均730mベンリン芝のワンクリンは戦略性を高めているとともに、インサイドワーク、コースマネジメントなどが要求され、ゴルフ本来の楽しさ、奥深さを味わっていただけます。

丘陵地とは思えないほどフェアウェイはフラットで広く、おほかさを感じさせますが、実際にプレーをすると各ホールとも、いくつもの表情を見せることに気づかされ、その難しさが圧力となってプレーヤーを襲います。

たとえば17番ホールは、ティーインググラウンドから見ると大部分が池に囲まれた美しいパー3のホールであります。その美しさがプレーヤーにとって難易度を高くしています。グリーンは傾斜があり上から速く、ピン手前から攻めなければなりません。またキャリで乗せないグリーンへの傾斜に跳ねて、池やバンカーに入ってしまう。上空の風を読み、距離、方向を正確に打つことが必要です。

18番はドッグレッグのミドルホールですが、距離がある上にグリーンは大きく

from

Kanto Golf Association

「TEAM KGAジュニア」が
長野でサマーキャンプ。その成果は……

TEAM KGA JUNIOR

平成26年度「TEAM KGA ジュニア」夏季強化合宿を8月18日(月)～20日(水)の3日間、長野カントリークラブで実施しました。認定選手(小・中学生)の内、日本ジュニアゴルフ選手権競技の有資格者を除く、男子小学生6名と中学生4名、女子小学生6名と中学生4名の計20名が参加。17日(日)にホテルにチェックインして夕食会。翌18日からは米国の「IMGゴルフアカデミー」のメソッドを取り入れたカリキュラムでの、密度の濃い指導です。18日(月)と19日(火)は、「IMGゴルフアカデミー」でも実践されているパッティングとアプローチのスキルテスト、トラックマンによる打球データの計測・分析、ビデオスイング撮影・解析など、科学的なデータに基づいた現状分析を行い、選手個々の課題や目標を確認しながら適切な練習法の指導を行いました。

中でも「IMGゴルフアカデミー」でも重要視されているショートゲームの指導の際は、ゲーム形式での練習(個人戦や団体戦)を取り入れ、楽しみながらも集中して必要な技術が習得できるプログラムを実施しました。また、エチケツ・マナー講習、練習グリーンやアプローチ練習場を使用したルール講習会など、技術だけでなく良いゴルフファナーになるための指導も行い、大変充実した2日間を過ごしました。20日は合宿の総括として18ホールの研修ラウンドを行い、15時に閉会式となりました。



左から、長野CCの笠原理事長、佐藤KGA常務理事。



快適な高原の気候の中、全員が「TEAM KGA ジュニア」のユニフォームと帽子を着用しての受講でした。指導に当たったKGA常務理事でジュニア育成委員会の佐藤委員長も選手の「やる気」に手応えを感じた夏季合宿でした。

平成26年度「TEAM KGA ジュニア」 特別育成選手の研修会を実施(予定)しました

- 第1回研修会、6月22日(日)、京葉カントリー倶楽部
 - 第2回研修会、9月21日(日)、日高カントリークラブ
 - 第3回研修会、10月26日(日)、朝霧ジャンボリーゴルフクラブ
 - 第4回研修会、11月24日(祝月)、大根カントリークラブ
- ラウンド研修会では、選手個々の課題を踏まえ、継続的な指導や科学的なデータの収集・分析を行っていきます。



ひとり一人の課題と目標を確認しながら、適切な練習法の指導と打球練習(課題に沿ったドリルの練習・スイング撮影)。アプローチとパットは個々のスキルチェックと練習方法を個別に、ゲームも取り入れて楽しく指導。ラウンドレッスンは選手個々の課題や目標を確認し、さらに集中力を高めるために個人戦や団体戦を行いました。

編集後記

今年の『関東倶楽部対抗』は、参加398倶楽部が19地区会場予選を勝ち抜いて、第1ブロック大会から第5ブロック大会へ進出。さらに決勝競技へと熱戦が続きました。ゴルフの団体戦としては日本最大の規模で、代表選手が倶楽部の名誉のために戦いました。その奮闘ぶりが、まさに「フォー・ザ・チーム」です。『関東女子倶楽部対抗』も毎年その規模が拡大し、今年は予選競技に201倶楽部、1092名の選手が参加されました。長野県では初開催となり、会場の三井の森ゴルフ倶楽部での決勝競技には、関東地区の47倶楽部が集結しました。白樺の森の高原コースが、花園になったかの彩りに溢れました。関係各位のご尽力および選手の皆様のご活躍に敬意を表し、この『関東倶楽部対抗特長号』に全記録を掲載いたしました。(KGA広報委員会委員長 塚原 裕)

KGA GOLFERS NEWS

2014年9月30日発行
KGA GOLFERS NEWS No.116
発行所／関東ゴルフ連盟
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号
銀座SCビル4階
TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008
ホームページ <http://www.kga.gr.jp>
発行人／竹田恒正 編集／広報委員会

Chip Shots

KGAトピックス

日本一のコースへ！ 整備に妥協はありません

戸塚CCの熊本康宏コースキーパーは、キャリア26年のベテラン。腰に2台の携帯電話とデジタルカメラを携行。「自然相手ですから経験や勘は重要です。さらに日常の観察と臨機応変の対応が不可欠で、デジタルカメラで記録してスタッフに正確に指示します」

熊本キーパーの抱負は「日本一のコースと言われたら、本一のことでした。」

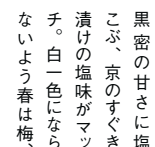
ブレい後は水で冷えた 和風デザート

くずきり(葛切り)といえは夏の定番デザートですが、戸塚CCでは秋も冬も通年で人気です。

和食担当の鈴木善尊さんは「自家製くずきりの、喉ごしをお楽しみください。黒密の甘さに塩こぶ、京のすぐき漬の塩味がマッチ。白一色にならず、春は梅、



腰のベルトには整備用の七つ道具。



果物でスタミナ補給と スコアアップを！

8月4日、関東倶楽部対抗決勝競技は、富士山を望む快晴の真夏日でした。代表選手の食欲とスタミナ維持に、ギョーリテントの応援団もひと工夫。南総CCは地元千葉産の朝採れ果物でした。



果物が満載！



くずきり、760円。

「八街の落花生は日本一の生産量が自慢ですが、スイカの甘みも全国に負けませんよ」



競技会場での産直販売が好評。

高麗リゾートのゴルフ
野菜や乳製品も通販
関東女子倶楽部対抗決勝競技が開催された三井の森ゴルフコースは、ハケ岳山麓で40年以上にわたる別荘地の開発と販売、ゴルフ場の運営を行ってきた「三井の森」が経営しています。

また地域に根ざしてハケ岳と藝科エリアの農業、酪農、野菜産業とともに歩み、自然の味、の野菜通販オンラインショップが「三井の森」として倶楽部」(HP参照)です。

担当の三井の森ゴルフ営業部の山田信一郎(写真左)は、朝採れの新鮮な高原野菜を手にして……。

「スタッフが地元の農家や農場を直接訪ねて、選り抜いたこだわりの品々です。ご家庭はもちろん、レストランのシェフからも高く評価されています。ハケ岳山麓の雄大な自然の中で、苦



三井の森ゴルフファーズロッジ。

ゴルフ場から600m離れた別荘地内に、三井の森ゴルフファーズロッジがあります。リゾート気分を満喫し、明日のプレーの好スコアを約束してくれるようです。

労をいとわず農業に情熱を注ぐ、生産者の想いが込められた野菜や乳製品を、ぜひご賞味ください」

試みにトウモロコシ、ミニトマト、長ナスなどを丸かじりしてみますと、まるでフルーツのような甘さと水々しさでした。

チーム戦に敵と味方はなく ただ友情あるのみ

倶楽部対抗の代表選手に選ばれる腕前ではないのに、地区会場予選競技の応援に行くのが楽しみ。ゴルフは自分と自然なるコースとの戦いだ。でもチーム戦となると観戦するだけで、あの時の感動が蘇ってくる。

誇張して言う今日の丸を背負って、オーストラリアとハワイ島で戦った。両競技とも、国際親善を目的とした招待競技。だから記録にも残らないし、優勝カップもないブラコンにすぎない。それでも参加選手の全員が、祖国の名誉を懸けて奮闘したのは事実だ。



世界の30数か国から出場した各国代表チームと、ザルツブルグでの世界戦。オーストラリア政府観光局主催の『ワールドツアーゲーム』の開会式は、各国の旗手による国旗の入場で始まった。3日間競技の表彰式で優勝国を国歌で讃えるため、野外コンサートのような巨大な音響システムがセットされていた。

開会式の荘厳なセレモニーが続く間、風に翻る日の丸に涙ぐんだ。優勝して、君が代を聴きたい！歌いたい！生まれて初めて、自分が日本人であることを実感し、心から誇りに思った。

結果、日本チームは惨敗だったが、国際親善大使の役割りは果たせただろう。ホテルで開催された盛大なパーティーは、日本チームの8人全員が揃いの真っ赤なお祭りのハッピに、江戸風の粋なハチマキ姿。地元テレビのニュースにも映ったし、地方紙にもカラー写真が掲載された。

世界各国の人々で溢れたお祭りは、明け方まで盛りあがった。そのハッピは、個人戦で敗れたドイツ人の女性にプレゼントした。「サムライ」と言われれば、悪い気はしないものだ。



米国と日本のマスコミ関係者同士の8人チームが、東から西からハワイ島に集結した。米国代表と欧州ツアー

選抜の選手が競うライダーカップと同じ競技形式で『ライタース（記者カップ）』という。

4日間競技の最終日はマッチプレーで、2人1組の最終組でスタートした。連日、ハワイ島の名コースを転戦して、この日の会場はJ・ニクラス設計のフアラライGC。対戦相手はすごい飛ばし屋の大男だった。

マッチはもつれにもつれて、オールスクエアで最終ホールを迎えた。このホールのみハンディがもらえる。すでに勝負のついたチームメイトが応援に駆けつけ、グリーン周りも大ギヤラリーだ。

残り135ヤードのセカンドショットが7ヤードにオンし、2パットで勝つと計算した。次に大男が110ヤードほどのアプローチショットを放つと、ギヤラリーから大歓声があがった。それはカップから15ヤードもない。ベタビンだったのだ……。

彼のパーティーが確実となり、緊張の糸が切れてほんやりしていた。その時「まだ終わっていないよ」と彼が教えてくれなければ、自分のボールをビクアップして負けを認めてしまったかもしれない。

「あつ！2パットでも引き分けたんだ」と気持ちを立て直したが、ファーストパットは2打以上もオーバーした。返しは膝が震えていた。カラン。ゴルフ人生最高のパットだっただろう。ボールを取り出す動作がきこなかったように、そんな私を見てジョージ・フラーはニヤリと笑った。

その夜の野外フェアウェイパーティーは盛大だった。またジョージと握手する時に「ハーイ！」と駆け寄って、隣りのヤシの木に抱きつくギャグをやってみた。みんなの笑いは取れたが、なぜか急に淋しさに襲われた。ジョージの青い眼を見ながら、泣き出しそうになるのを必死でこらえた。

たった1週間ほどの旅だったのに、心に溢れるほどのお土産を抱えて、HOME（故郷）に帰ろう。ゴルフに国境はない。敵もない。それがゴルフの力だ！

（注・読者の投稿を再構成しました）



昨年の関東倶楽部対抗第2ブロック大会にて。